

平成 24 年 度

可児市教育委員会事務の点検・評価報告書

(平成 25 年度実施)

可 児 市 教 育 委 員 会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第
27条第1項の規定により、平成24年度可児市教
育委員会事務の点検及び評価の報告書として本
書を提出します。

可児市教育委員会

目 次

平成24年度可児市教育委員会事務の点検・評価のあらまし・・・・・・・・	3
教育委員会事務局の事業の実施状況等について・・・・・・・・	8
基本目標ごとの点検及び評価の結果	
【基本目標】	
夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育・・・・・・・・	14
【基本目標】	
あたたかさと厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり・・・・・・・・	30
【基本目標】	
市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習・・・・・・・・	42
【基本目標】	
健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動・・・・・・・・	52
【基本目標】	
文化・芸術の創造と歴史の継承・・・・・・・・	60
【全体の推進体制】・・・・・・・・	74
用語解説・・・・・・・・	78
(点検評価シート中 印の字句について解説)	

平成24年度可児市教育委員会事務の点検・評価のあらまし

市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)」第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆さまへの説明責任を果たすため、学識経験者(外部評価委員)の知見を活用した教育委員会事務の点検・評価を実施しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

教育委員会の権限に属する事務は、次のとおり「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に規定されています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育委員会の職務権限)

第23条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関(以下「学校その他の教育機関」という。)の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 学校その他の教育機関の用に供する財産(以下「教育財産」という。)の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

市教育委員会では、平成23年3月に「可児市総合計画」の教育分野をさらに具体化し、中長期的かつ総合的な展望に立って計画的に教育課題の解決を図るための指針として「可児市教育基本計画」を策定しました。同計画は、平成23年度から平成32年までの10年間の可児市の教育の方向性を示すとともに、平成23年度から平成27年度までに取り組む具体的な施策（前期計画）を定めています。平成23年4月からの計画の運用開始に伴い、毎年度の“方針と重点”を、計画に掲げた5年間で実現する目標の単年度での到達目標を掲げるものとして位置づけました。

本点検・評価は、「可児市教育基本計画」の進捗管理としても実施しています。

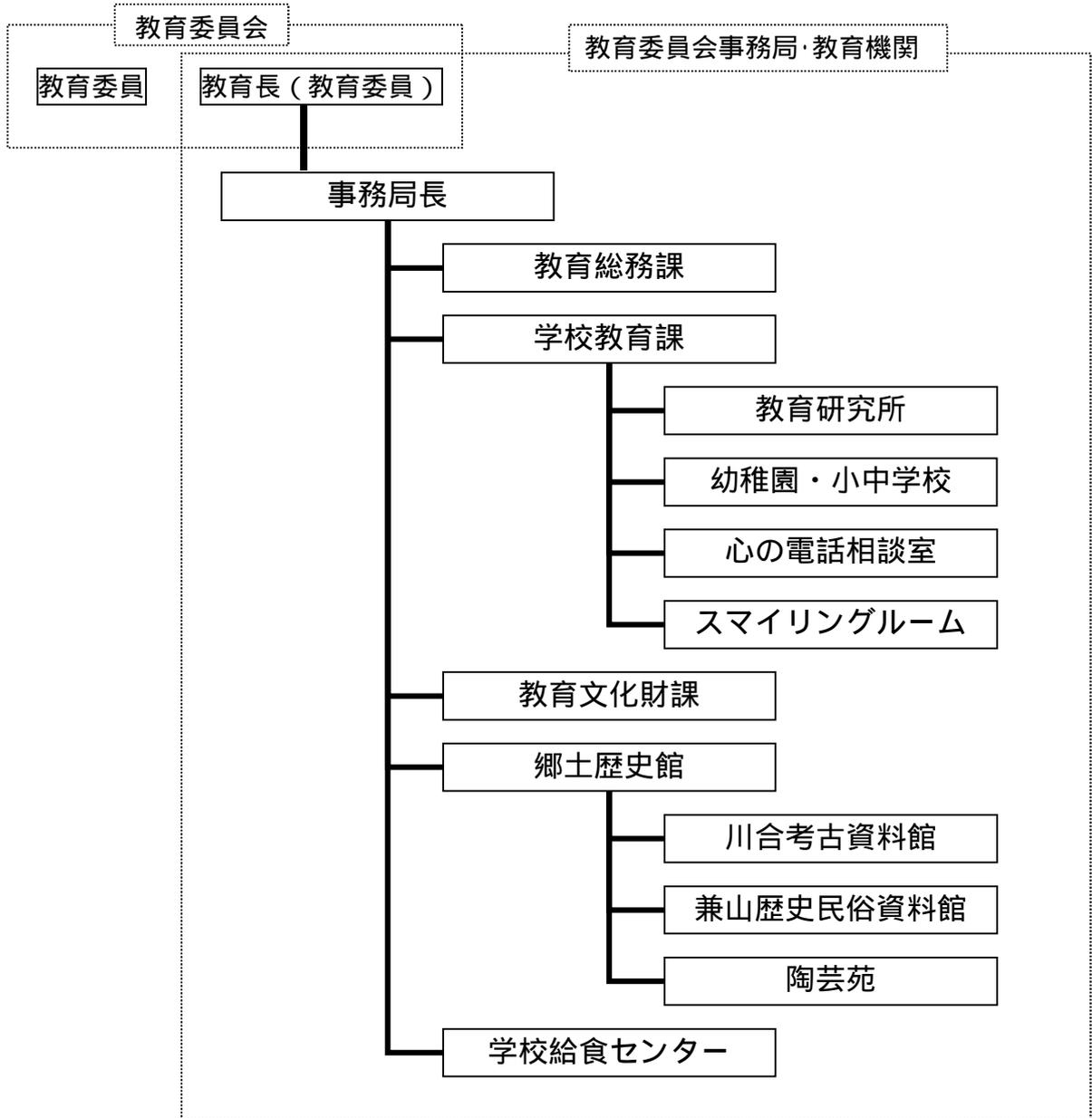
【可児市教育基本計画の基本目標と施策】

「可児市教育基本計画」では、基本理念「ともに学び、ともに育み、だれもが輝くまち・可児」を実現するために、教育・学習を5つの分野と全体の推進体制に分類し、重点的に取り組む項目として、次のとおり24施策を掲げました。

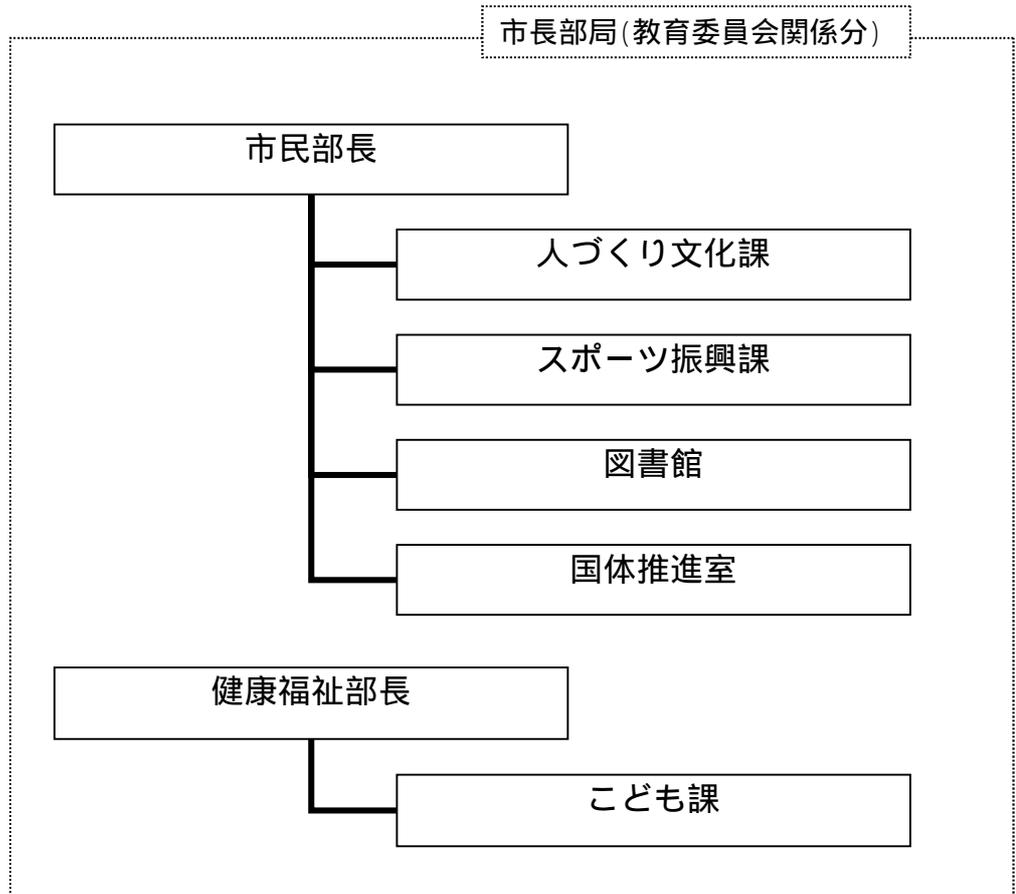
<p>基本目標 (幼児教育・学校教育分野) 夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育</p>	<p>施策1 豊かな心を育てる幼児教育の充実 施策2 子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成 施策3 活力ある学校経営の推進 施策4 教員の資質及び指導力の向上 施策5 一人一人の状況に応じた支援の充実 施策6 安全で健康づくりを考えた給食の提供と食育の推進 施策7 安心して学べる学校施設環境の整備・充実</p>
<p>基本目標 (社会教育分野) あたたかさと厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり</p>	<p>施策1 家庭教育の啓発・支援 施策2 地域の教育力の向上 施策3 休日・放課後の子どもの居場所づくり 施策4 青少年の健全育成</p>
<p>基本目標 (生涯学習分野) 市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習</p>	<p>施策1 多様な生涯学習機会の提供 施策2 市民の主体的な生涯学習活動の支援 施策3 図書館の機能充実と読書活動の推進 施策4 だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実</p>
<p>基本目標 (スポーツ活動分野) 健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動</p>	<p>施策1 スポーツに親しみ、楽しむ機会の提供 施策2 スポーツに取り組む人材の育成と技術の向上 施策3 気軽に利用できるスポーツ施設環境の整備・充実</p>
<p>基本目標 (文化・芸術活動、歴史分野) 文化・芸術の創造と歴史の継承</p>	<p>施策1 文化・芸術に親しむ機会の提供 施策2 市民の主体的な文化・芸術活動の支援 施策3 文化財の保護と歴史の継承 施策4 文化・歴史に親しめる施設環境の整備・充実</p>
<p>全体の推進体制</p>	<p>施策1 教育委員会の活性化 施策2 効率的な教育行政運営</p>

市教育委員会の組織は、「可児市教育委員会の事務組織等に関する規則（平成6年可児市教育委員会規則第7号）」に定められており、この中でこれらの事務が教育委員会事務局各課及び各教育機関に割り振られ、それぞれ事業を展開しています。

【可児市教育委員会組織図】



【可児市市長部局組織図】



【各課及び教育機関の主な事務分掌】

課・教育機関名	主な事務分掌
教育総務課	教育委員会事務局の全体調整、教育施策の企画立案、教育委員会会議、教育委員会規則・訓令の制定改廃、公印の管守、教育委員会表彰、教育財産の管理、教育施設の建設・営繕・管理、学校職員住宅の管理、職員の人事・服务等
学校教育課	学校の組織・編成・教育課程・学習指導・生活指導・職業指導等、入学・転学・卒業等、学校保健、教職員の研修、教職員人事の内申、教科書、教育に関する調査・統計、スマイリングルームの運営、心の電話相談室等各種相談事業、教育に関する調査・研究
教育文化財課	就学援助、家庭教育、PTA、文化財の指定・調査、指定文化財の管理・保護、文化財審議会、学校支援
郷土歴史館	郷土歴史館・川合考古資料館・兼山歴史民俗資料館・陶芸苑の管理運営、郷土資料等の調査・記録
学校給食センター	学校給食の提供、給食指導、食育の推進・啓発、学校給食センターの管理運営、学校給食費経理、給食物資の発注・受入

【市長部局に属する課の主な事務分掌】

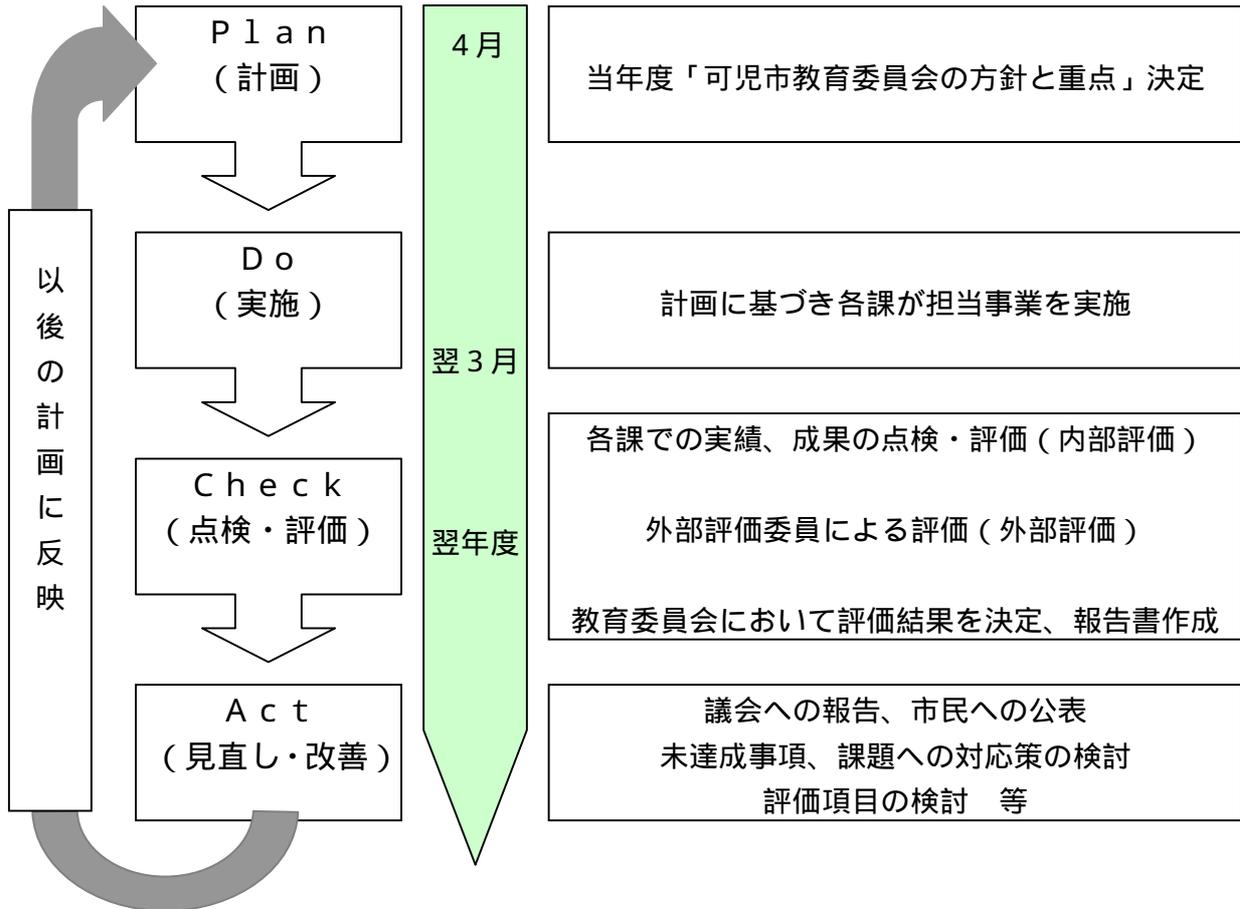
課・教育機関名	主な事務分掌
こども課	児童センター、キッズクラブの運営、ファミリーサポートセンター、子育て支援、児童手当、母子、寡婦・父子福祉、児童虐待防止・女性保護、家庭相談、保育園・幼稚園
人づくり文化課	人権、男女共同参画、子どものいじめの防止、少年センター、青少年育成市民会議、青少年関係団体の育成・連絡調整、成人式、文化・芸術の振興、文化創造センターの管理運営（指定管理者の監理）、文化団体の育成・支援、生涯学習の推進、生涯学習講座の実施、生涯学習の情報収集・啓発、生涯学習指導者・社会教育団体の育成・支援、社会教育委員、公民館・兼山生き生きプラザの管理運営、高齢者大学・大学院
スポーツ振興課	スポーツ大会・教室の企画・開催、体育施設の管理運営、学校体育施設の開放、総合型スポーツ・文化クラブの運営支援、体育団体の育成・支援、スポーツ推進委員・スポーツ普及員、財団法人可児市体育連盟の支援、B & G財団関連事業
図書館	図書の貸出サービス、移動図書館の運行、読書活動の推進・啓発、図書館資料の収集・整理、図書館の管理運営、図書館分館の管理運営
国体推進室	国体競技の開催、国体の啓発

平成25年度は、平成24年度に行った事業について、次の内容の点検・評価を実施しました。

教育委員会事務局及び市長部局の事業の実施状況等について

「可児市教育基本計画」に掲げた24施策のうち、「可児市教育委員会の方針と重点」において平成24年度に重点的に取り組むと掲げた項目の実施状況や成果等についてその達成状況を点検・評価しました。

点検・評価の流れは次のとおりです。



点検・評価は、重点項目ごとに『点検評価シート』を作成して行いました。(様式について詳しくは10, 11ページをご覧ください。)
「施策の実施状況、成果」、「課題」、「今後の方針」の各項目により事業の点検を行なったうえ、AからDまでの総合判定をしています。

AからDまでの判定基準は次のとおりです。

- A：順調に達成.....当該重点項目について、年度当初に立てた組織目標をすべて達成することができたものです。
- B：おおむね順調に達成...当該重点項目について、年度当初に立てた組織目標をおおむね達成することができたものです。
- C：一部未達成.....当該重点項目について、事業を実施しましたが、年度当初に立てた目標を達成することができなかったものです。
- D：達成していない.....当該重点項目に対する事業実施に着手できなかったものです。
(事業の廃止を含みます。)

また、施策の達成状況は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その進捗状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取り組みについて、「参考指標」欄に開催回数・参加人数などを記載しました。

今後も、点検・評価を毎年度繰返し実施することで、点検・評価の方法や公表の仕方にも工夫を凝らし、市民の皆さまに分りやすいものとなるよう努めてまいります。

【様式について】

点検評価シートの項目ごとの記載内容は、次のとおりです。

平成○年度 教育委員会事務事業の執行状況 点検評価シート

平成○年度の重点	
基本目標名	
施策名	
主な取組の内容	「教育委員会の方針と重点」に記載した内容です。
主な予算事業名	主な予算事業名です。
施策の実施状況、成果	
達成状況、成果の記述です。	

担当課	
-----	--

施策の課題及び今後の方針	
課題	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 施策についての課題と今後の方針です。 </div>
今後の方針	
評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="text-align: center; background-color: #cccccc; margin-bottom: 5px;"> 施策の総括 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 総合判定と施策を総括したコメントです。総合判定については A = 順調に達成、B = おおむね順調に達成、C = 一部未達成、D = 達成していない。と、なっています。 </div> </div>

参考指標			
指標名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成〇年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 施策の進捗状況の参考数値です。 </div>		

教育委員会事務局の事業の実施状況等について

重点32項目の判定結果は、A判定32件で、B・C・D判定となった項目はありません。このことから、平成24年度の事業については、順調に達成することができたといえます。A判定項目も含めて、各項目の「今後の方針」を踏まえた事業推進・改善に役立てていきます。

基本目標ごとの評価は次のとおりです。各施策の点検評価の詳細は、14ページ以降に掲載しています。

【基本目標】夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育

施策名		担当課	頁	評価
1	豊かな心を育てる幼児教育の充実	学校教育課 こども課	14	A
2	子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	学校教育課	16	A
3	活力ある学校経営の推進	学校教育課	18	A
4	教員の資質及び指導力の向上	学校教育課	20	A
5	一人一人の状況に応じた支援の充実	学校教育課 教育文化財課	22 24	A A
6	安全で健康づくりを考えた給食の提供と食育の推進	給食センター	26	A
7	安心して学べる学校施設環境の整備・充実	教育総務課	28	A

【基本目標】あたたかさや厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり

施策名		担当課	頁	評価
1	家庭教育の啓発・支援	教育文化財課	30	A
2	地域の教育力の向上	教育文化財課 人づくり課	32 34	A A
3	休日・放課後の子どもの居場所づくり	生涯学習文化室 こども課	36 38	A A
4	青少年の健全育成	人づくり課	40	A

【基本目標】市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習

施策名		担当課	頁	評価
1	多様な生涯学習機会の提供	生涯学習文化室	42	A
2	市民の主体的な生涯学習活動の支援	生涯学習文化室	44	A
3	図書館の機能充実と読書活動の推進	図書館	46	A
4	だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実	生涯学習文化室	48	A
		図書館	50	A

【基本目標】健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動

施策名		担当課	頁	評価
1	スポーツに親しみ、楽しむ機会の提供	スポーツ振興課	52	A
2	スポーツに取り組む人材の育成と技術の向上	スポーツ振興課	54	A
		国体推進室	56	A
3	気軽に利用できるスポーツ施設環境の整備・充実	スポーツ振興課	58	A

【基本目標】文化・芸術の創造と歴史の継承

施策名		担当課	頁	評価
1	文化・芸術に親しむ機会の提供	郷土歴史館	60	A
		生涯学習文化室	62	A
2	市民の主体的な文化・芸術活動の支援	生涯学習文化室	64	A
3	文化財の保護と歴史の継承	教育文化財課	66	A
		郷土歴史館	68	A
4	文化・歴史に親しめる施設環境の整備・充実	郷土歴史館	70	A
		生涯学習文化室	72	A

【全体の推進体制】

施策名		担当課	頁	評価
1	教育委員会の活性化	教育総務課	74	A
2	効率的な教育行政運営	教育総務課	76	A

	担当課	学校教育課 こども課
平成24年度の重点		
基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育	
施策名	1 豊かな心を育てる幼児教育の充実	
主な取組の内容	幼稚園・保育園・小中学校の連携、交流（ - 1 - (2) ） 小1プロブレム（ 1 ）などの課題を共有し、発達段階に応じた指導についての研修を実施する。 豊かな心の基礎を育てる活動の推進（ - 1 - (3) ） 幼稚園の教育内容に関する指導・援助をする。 幼稚園での子育て支援の充実（ - 1 - (5) ） 就学前の子どもに関する保育・教育等協議会からの提言書の内容を具体的に検討し、今後の方針をとりまとめる。	
主な予算事業名	幼稚園管理経費 幼稚園教育振興経費 私立幼稚園支援事業 教育研究所一般経費	

施策の実施状況、成果

幼稚園・保育園・小中学校の連携、交流（ - 1 - (2) ）
 保育士、幼稚園教諭、小・中・高等学校教師が参加する幼保小中高連携講座をかたびら第二幼稚園で開催し、幼稚園教育の概要や幼稚園児の発達についての理解を深めた。また、「発達障がい児の理解と支援」というテーマの講演会を併せて開催した。
 小学校の児童と保育園・幼稚園の園児、小学校児童と中学校生徒との交流会を8校で行った。

豊かな心の基礎を育てる活動の推進（ - 1 - (3) ）
 2名の研究所指導主事と1名の教育文化財課の指導主事が、2つの幼稚園の園内研究会に6回出向き、幼児へのよりよい支援のあり方について指導助言した。
 瀬田幼稚園において、身近な自然を取り入れた遊びや廃材を活用した遊びなど、園児が主体的に取り組む保育に努めた。また、PTAサークルによる絵本の読み聞かせ活動や、地域の高齢者とのふれあい行事を実施した。

幼稚園での子育て支援の充実（ - 1 - (5) ）
 就学前の子どもに関する保育・教育等協議会からの提言を受けた「目指すべき保育・教育のあり方」や「保育園・幼稚園の役割と必要性」等の内容に対する今後の方針をとりまとめた。



幼保小中高連携講座（かたびら第二幼稚園）



PTAサークルによる読み聞かせ

担当課	学校教育課 こども課
-----	---------------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>小学校の学びや生活につながる幼児教育を推進する。 子ども子育て関連3法（ 2 ）に基づく新しい制度への対応として、幼児教育の今後のあり方や地域の子育て支援の充実等について具体化する必要がある。</p>
------------	---

今後の方針	<p>平成25年度から全市立小学校に設置される幼保小連携協議会への参加を通じ、幼児教育の課題の共有や連携・交流をさらに充実する。 平成25～26年度の2か年継続事業で策定する子ども・子育て支援事業計画において、人口推計や市民のニーズ調査等に基づいた幼児教育の需要量の見込みや幼稚園における子育て支援策等を明確にする。</p>
--------------	--

評 価	A	施策の総括
		<p>幼保小中高連携講座を開催するとともに、幼稚園への園内研究会において、幼児教育のあり方について指導助言をすることができた。 子どもサポート会議により、就学前から就学につながる保育、教育にあり方について話し合うことができた。 園内研究会における指導や研修等による教諭の資質向上に努めるとともに、自然との関わりを生かした体験や地域との交流を通じて、豊かな心の基礎を育てる幼児教育が実施できた。</p>

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
幼保小中高の教育連携研究会(講座)開催回数	開催回数(回)	0	1
小中学校と幼稚園、保育園の交流会開催回数	交流会開催回数(回)	0	8

担当課	学校教育課
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育	
施策名	2 子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	
主な取組の内容	確かな学力の向上（ - 2 - (1) ） Q-U（ 3 ）とNRT（ 4 ）を活用して、すごしやすく学びやすい学校生活をつくる。（含：国や県の調査の活用） 学校生活全般と市主催の発表会等を生かして、コミュニケーション能力の向上をめざす。 心の教育の推進（ - 2 - (3) ） Q-UとNRTを活用して、すごしやすく学びやすい学校生活をつくる。（含：国や県の調査の活用）	
主な予算事業名	学校教育一般経費 可児市学校教育力向上事業 スクールサポート事業 外国語教育推進事業 小学校教育振興一般経費 小学校教材備品購入事業 小学校情報教育推進事業 中学校教育振興一般経費	中学校教材備品購入事業 中学校情報教育推進事業 学校図書館運営事業

施策の実施状況、成果

確かな学力の向上（ - 2 - (1) ）、心の教育の推進（ - 2 - (3) ）
 児童生徒が、よりよい人間関係を築けるようQ-Uアンケートを小3～中3年までの学年で年間2回実施をした。各学校に対するQ-Uの読み取り、活用研修をのべ14回行った。
 生活での困り感に加え、学習での困り感も把握し、指導に生かすNRT(全国標準学力検査)を小3～中3(実施教科：国語・算数(数学)、実施：4月下旬)で実施をした。Q-UとNRTについては、各学校の結果をもとに、市内全体の傾向等をまとめ、今後のあり方について指導助言した。
 第2回Q-Uアンケートの結果からは、小中学校ともほぼ全ての学年で向上し、「学級生活満足群」その周辺の児童生徒が60%(全国平均54.9%)を超える等いずれの学年も全国平均を上回った。小学校では高学年、中学校では中3の伸びが顕著であった。
 NRTについては、学年が上がるにつれて伸びているという結果であった。
 心の教育の推進（ - 2 - (3) ）
 豊かな心の育成の面では、市内の全ての学校が「ひびきあいの日」に向けて意欲的に取り組み、小学校8校、中学校5校がひびきあい賞を受賞する等、可児市が取り組んでいるいじめ防止や日頃より大切にしている豊かな心、人権感覚を高める取り組みが認められた。



言語活動の充実させる授業



Q-Uの活用に関する研修会の様子

担当課	学校教育課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	Q-U及びNRTの更なる活用方法を検討し、すごしやすく学びやすい学校生活のあり方・学校生活の中核である授業のあり方の具体化を図る。				
今後の方針	Q-U調査とNRTテストの集計結果や各学校の授業の様子から、Q-Uの満足群に位置する児童生徒が多い学級、学年は学力が高く、学力と学級づくりには相関があることが分かってきた。それを生かしながら、ルールとリレーション、わかりやすさの三つの側面からとらえ施策の具現を図る。 Q-U調査の更なる活用方法については、今年度、広陵中校区を指定校として実施をした早稲田大学の河村研究室による詳細分析及び大学の専門家による研修を、市内に広めていく。				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 15%;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>過ごしやすく学びやすい学級集団をつくるためにQ-Uの活用についてすべての市内小中学校で実践をした結果、学級満足群の割合が全国平均を上回った。</p> <p>Q-UとNRTの活用について、集団と個の対応のポイントが明確になりすごしやすく学びやすい学校生活をつくるための意識づけができた。</p> </td> </tr> </table>	A	施策の総括		<p>過ごしやすく学びやすい学級集団をつくるためにQ-Uの活用についてすべての市内小中学校で実践をした結果、学級満足群の割合が全国平均を上回った。</p> <p>Q-UとNRTの活用について、集団と個の対応のポイントが明確になりすごしやすく学びやすい学校生活をつくるための意識づけができた。</p>
A	施策の総括				
	<p>過ごしやすく学びやすい学級集団をつくるためにQ-Uの活用についてすべての市内小中学校で実践をした結果、学級満足群の割合が全国平均を上回った。</p> <p>Q-UとNRTの活用について、集団と個の対応のポイントが明確になりすごしやすく学びやすい学校生活をつくるための意識づけができた。</p>				

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

担当課	学校教育課
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
施策名	3 活力ある学校経営の推進
主な取組の内容	体験学習の推進（ - 3 - (1) ） 各小中学校の地域力を生かした体験学習の支援を行う。 国際理解教育・多文化共生教育の推進（ - 3 - (2) ） A L T（ 5 ）の活用及び小中学校の連携した研究と指導をする。
主な予算事業名	教育委託助成事業 外国語教育推進事業

施策の実施状況、成果

体験学習の推進（ - 3 - (1) ）
 学校の教育目標や願う児童生徒の姿の具現に向けた体験学習の実施により、自ら学び自ら考える力の育成や豊かな心を育む実践が継続してできた。

国際理解教育・多文化共生教育の推進（ - 3 - (2) ）
 A L T 5名の市内幼稚園・小学校・中学校への派遣を行った。小学校においては、新学習指導要領の実施に伴い、5・6年生を中心に派遣した。
 A L Tの効率的な活用について、研修会を実施するとともにA L T自身の指導能力についても検証し改善を促した。
 可見市学校教育研究会における小中英語部会（全小中学校の英語担当が参加）で、授業研究を基に研究討議や小中の実践交流を行った。研究会では可茂教育事務所の指導主事等の助言を受け、小中の連携の強化やスキルアップを図った。



小学校英語活動の様子



外国語活動講座の様子

担当課	学校教育課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>体験学習では、地域を巻き込んだ活動の更なる充実を検討する必要がある。自治会や子ども会への加入率減少による地域行事への不参加者への対応を考えていく必要がある（参考指標：地域活動への参加状況）</p> <p>英語活動では、今後も継続してコミュニケーション能力の育成につながる活動のあり方、英語の音声に日常的に親しむ、慣れるなどの効果的な学習方法を考えていく必要がある。</p>
------------	---

今後の方針	<p>A L Tの効果的な運用を研究していく。</p> <p>南帷子小学校を小学校英語コミュニケーション研究事業の指定校とし、国際化時代に対応し、外国人に対して物怖じすることなくコミュニケーションを図ろうとする子どもを育てるための研究を進めていく。</p> <p>体験活動については、内容を精査し、地域の教育力を効果的に活用した取り組みを市内に広げていく。（例：地域を巻き込んだ花づくり等）</p>
--------------	---

評 価	A	施策の総括	<p>体験学習事業補助金の交付及び指導ができた。その結果、学校の特色を出し、地域を巻き込んだ価値ある体験活動を行う学校が増えてきた。</p> <p>英語指導助手派遣事業の実施にあたっては、A L Tの配置及び小中連携に関わる研修を充実した。</p>
------------	---	--------------	--

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
学校関係者評価得点率	可児市小中学校自己評価平均 (5段階評価)	3.0	3.17
地域活動への参加状況	春の「花いっぱい運動」への児童生徒の参加率(%)	75.2	68.4

担当課	学校教育課
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
施策名	4 教員の資質及び指導力の向上
主な取組の内容	教員研修の充実（ - 4 - (1) ） Q-UやNRTの活用を含めた各種研修を充実する。 E d u c e 9（ 6 ）指定校事業の推進（ - 4 - (3) ） 蘇南中校区で行われるE d u c e 9の指定校事業の支援を行う。
主な予算事業名	可児市学校教育力向上事業 教育研究所事業経費 教育委託助成事業

施策の実施状況、成果

教員研修の充実（ - 4 - (1) ）
 Q-UやNRTで把握した児童生徒への対応として下記の研修を行った。
 研究所指導主事による各学校に対するQ-Uの読み取り、活用研修をのべ14回行った。
 大学教授等による教員研修や指導として8月には、市内教職員が一同に集まり、早稲田大学の河村茂雄教授による学級集団づくりに関する教育講演会を行い、Q-Uの活用の意義、具体について学んだ。
 大学の専門家による研修会（各学校へ派遣）実施に伴い、発達障がいやQ-Uの講師（5人）を希望のあった学校へ派遣した。
 専門家による小中学校への巡回指導として岐阜大学の橋本治准教授による小中学校への指導を行った。学級への授業参観後、対処・支援・自覚のレベルに応じ、主に担任教師を対象に指導助言の場を設定した。（年間24回の学校巡回）
 発達障がいの専門家（西山史子氏）による小中学校の巡回相談を行った。担任や保護者へのカウンセリングと、発達障がいへの対応の仕方を学んだ。（年間52回の学校訪問）
 前年に引き続き若手教員の育成に力を入れ、年間9回の土曜塾を行った。若手育成スーパーバイザー事業に伴い、2年目から6年目教員を対象に若鮎スキルアップ講座を年間3回実施した。
 E d u c e 9指定校事業の推進（ - 4 - (3) ）
 蘇南中校区がE d u c e 9公表会に向けて3回の打合せ会を実施した。各学校の公表会のあり方について指導助言した。



E d u c e 9公表会全体会の様子



若鮎スキルアップ講座の様子

担当課	学校教育課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	E d u c e 9 指定校の取り組みについては、学校のE d u c e 9 の位置づけ、公表会のあり方、全体発表の持ち方、発表年度等、公表する学校の研究成果の広げ方について見直しを図り、より実りある公表会のあり方を考えていく必要がある。
------------	---

今後の方針	Q-U研修については、読み取りから活用型の研修にシフトしていく。 今後のE d u c e 9 指定校の取り組みを可児市学校教育力向上事業（ 7 ）と連動して進めていく。指定校での取り組みを市内全体に広めていく。 教育の今日的課題に関する研修、若手育成に関する研修を主に、知識習得型の研修から現場の授業に生きる活用型の研修を充実させていく。
--------------	--

評 価	A	施策の総括	<p>大学等の専門家による各学校への派遣研修により、発達障がいやQ-Uの活用に関する各種研修が充実した。 E d u c e 9 指定校事業を通して、校区の小中連携を深めることができた。</p>
------------	----------	--------------	---

- | |
|--|
| <p>A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない</p> |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
教員研修参加率	年度中に3回以上研修に参加した教員の割合(%)	73.0	100

担当課	学校教育課
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
施策名	5 一人一人の状況に応じた支援の充実
主な取組の内容	障がいや発達のおぼろげのある子どもに対する支援（ -5-(1) ） 本年度開設するLD等通級指導教室（東明小学校）の円滑な運営をする。 外国人児童生徒への支援（ -5-(2) ） 「ばら教室KANI」の建て替えを円滑に行う。 教育研究所における各種相談活動の充実（ -5-(4) ） 各種相談活動の充実や、いじめ防止専門委員会（ 8 ）との連携を図る。 いじめの未然防止と早期対応（ -5-(7) ） 各種相談活動の充実や、いじめ防止専門委員会との連携を図る。
主な予算事業名	ばら教室KANI運営事業 ばら教室KANI整備事業 可児市学校教育力向上事業 教育研究所事業経費

施策の実施状況、成果

障がいや発達のおぼろげのある子どもに対する支援（ -5-(1) ）
 ふれあい教室可児（ 9 ）(市内2教室)の通級児童生徒は、41名、16校中12校から通室している。それぞれの児童生徒の困り感に対応した指導を実施している。

外国人児童生徒への支援（ -5-(2) ）
 ばら教室KANI（ 10 ）の施設を有効に活用するため、新築に関わり以下のことを指摘し建替えを行った。

- グループ学習が集中して行えるように指導教室の広さを確保する。
- 全員が一斉に集まる広い教室と、グループ学習ができる教室を配置する。
- 手洗い場、トイレなど衛生面の施設が完備し、美しい環境で生活できる。
- 事務処理、物の管理等が適切に行われるように、職員室、倉庫を配置する。

教育研究所における各種相談活動の充実（ -5-(4) ）、いじめの未然防止と早期対応（ -5-(7) ）
 全ての学校でいじめ防止パンフレットを活用した授業を行い、いじめの未然防止に努めている。
 スマイルカードについては「不登校相談」だけでなく、「いじめ・悩み等の問題」にも対応していく。小1～中3までの全児童生徒に再配布を行った。
 不登校児童の出現率について、小学校では増加、中学校では減少し、小・中学校全体では減少をした。



高校見学会の様子



ばら教室KANIでの授業の様子

担当課	学校教育課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>発達障がいや発達につまづきのある児童生徒への理解は進んできたので、関係機関とさらに連携しながら対応の仕方について検討していく必要がある。</p> <p>教育研究所における教育相談事業に関わって広報するなど、さらに周知を図ることが必要である。</p> <p>いじめの未然防止、早期対応のために、いじめ防止専門委員会などの第三者機関とさらに連携を深める必要がある。</p> <p>ばら教室 K A N I への入室を待つ外国人児童生徒の対応が必要である。</p> <p>外国人生徒の高校進学率の低下理由については、雇用不安による帰国者の増加、中学校年齢で初入学する生徒が増えていると考えられる。</p>
------------	--

今後の方針	<p>専門家の指導を受けながら、発達障がいや発達につまづきのある児童生徒への対応のあり方について支援をしていく。</p> <p>教育相談事業の目的や方法、日時、場所などについて様々な場で広報していく。</p> <p>いじめの未然防止については、いじめ防止パンフレットの有効活用を図り、道徳教育、学級活動の時間においても子どもたちの当事者意識を高める授業を行っていく。</p>
--------------	---

評 価	A	施策の総括	<p>保護者の困り感、ニーズに応じた相談体制を充実した（発達障がい、不登校、成育歴等）。</p> <p>ふれあい教室可児の円滑な運営ができつつある。</p> <p>ばら教室 K A N I の建替えに伴う事業運営を円滑に行うことができた。</p>
------------	----------	--------------	---

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

参 考 指 標

指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
LD・ADHD等対応通級指導教室数	LD・ADHD等対応通級指導教室の設置校数(校)	0	2
外国人生徒の高等学校進学率	高等学校に進学した外国人生徒/中学校を卒業した外国人生徒(%)	79.2	50
不登校児童の出現率(小学校)	児童100人あたりの出現率(%)	0.32	0.53
不登校生徒の出現率(中学校)	生徒100人あたりの出現率(%)	2.93	2.46
スマイリングルーム(11)の利用率	スマイリングルーム通学児童生徒数/不登校児童生徒数(%)	30.0	40.0
不登校児童の学校復帰率(小学校)	継続的に登校できるようになった児童数/不登校児童数(%)	21.1	25.8
不登校生徒の学校復帰率(中学校)	継続的に登校できるようになった生徒数/不登校生徒数(%)	12.8	17.4

		担当課	教育文化財課
平成24年度の重点			
基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育		
施策名	5 一人一人の状況に応じた支援の充実		
主な取組の内容	就学支援制度による児童生徒(保護者)への経済的な支援(- 5 -(6)) 要保護・準要保護の児童・生徒へ支援を行う。 特別支援教育就学の児童・生徒へ支援を行う。		
主な予算事業名	小学校就学援助事業 中学校就学援助事業		
施策の実施状況、成果			
<p>就学支援制度による児童生徒への支援(- 5 -(6)) 経済的な理由で就学が困難な、可児市立の小・中学校へ通う児童生徒の保護者に対して支援を行った。</p> <p>要保護・準要保護の児童・生徒の保護者に対して、学用品費、学校給食費などの支援を行った。 小学校児童 237名 中学校生徒 148名</p> <p>支援対象者数は、今日の社会環境もあって増加傾向にある。窓口において、相談・受付を行うとともに、入学説明会等で学校と連携し、或いは関係の深い児童扶養手当受給者へ通知するなど制度の周知を図った。</p> <p>特別支援学級へ通う児童・生徒の保護者に対し、奨励費を支給した。 小学校児童 63名 中学校生徒 17名</p>			

担当課	教育文化財課
-----	--------

施策の課題及び今後の方針		
課題	外国籍の児童生徒については、言葉の関係もあり、制度の周知や所得状況の確認などをしっかり把握しなければならない。 対象者の実数を把握するのは困難である。	
今後の方針	今後も経済的な理由で就学できない児童生徒をなくすよう、特に制度の周知徹底を図っていく。	
評価	A	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 20%;">施策の総括</th> <td>申請漏れによる苦情は1件に限られ、適正な制度運用ができた。</td> </tr> </table>	施策の総括
施策の総括	申請漏れによる苦情は1件に限られ、適正な制度運用ができた。	

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参考指標			
指標名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

担当課	学校給食センター
-----	----------

平成24年度の重点

基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
施策名	6 安全で健康づくりを考えた給食の提供と食育の推進
主な取組の内容	<p>安全で栄養バランスがとれたおいしい学校給食の提供（ - 6 - (1) ） 献立作成委員会を開催し、栄養バランスのよい学校給食を提供する。 食中毒を防止するため衛生管理を徹底するとともに、これに関する知識と調理技術の習得をめざした研修に参加する。 学校給食費の適正な徴収を進める。</p> <p>安全な食材確保と地産地消の推進（ - 6 - (2) ） 給食用物資購入選定委員会を開催し、安全で良質な食材を吟味して購入する。 可児市産を含む県内産の食材をできる限り使用する。</p> <p>学校における食育の推進（ - 6 - (3) ） 食について正しい知識を身につけ、望ましい食習慣を養うため、学校と連携し、栄養教諭、学校栄養職員による学校訪問指導を実施する。 献立表への使用食材の記載や、希望により栄養成分配合表等の情報提供を行うなど保護者との緊密な連携を図り食物アレルギーへの対応を進める。 給食残渣の資源化を推進し活用を進める。</p> <p>家庭における食育の推進（ - 6 - (4) ） 試食会などを通じて、保護者に対し、正しい食習慣を身につけることや朝食の大切さ、家族と一緒に楽しく食べることの大切さについて啓発する。 献立表や給食だよりを配布し、食に関する情報の提供や啓発を行う。</p>
主な予算事業名	給食センター運営経費 給食センター管理経費

施策の実施状況、成果

安全で栄養バランスがとれたおいしい学校給食の提供（ - 6 - (1) ）
 毎月（7月を除く）開催する献立作成委員会の協力を得ながら、栄養士、調理員、事務職員が一体となって、安全で栄養バランスがとれたおいしい給食を提供した。
 県、可茂地区の研修会に参加したほか、センター内での各種研修会や毎日のミーティングを通して協議を重ね、衛生管理をはじめとした各種マニュアルを見直し、調理技術の向上と衛生管理の向上を図った。
 学校と連携し「学校給食事務取扱いマニュアル」に基づき適正な事務を進めた。
 各学校へ出向き収納状況を把握して収納率向上を目的に指導を進めた。（現年度徴収実績 476,777,615円 収納率 99.30%）
 『子ども手当の支給に関する特別措置法』に基づき、学校と連携し滞納金の徴収事務を進め、21件646,770円を徴収した。
 ○回収が特に困難となっている長期給食費滞納者について、弁護士に滞納給食費の回収業務を委託し、114,470円（委託総額の7.8%）を回収した。

安全な食材確保と地産地消の推進（ - 6 - (2) ）
 給食用物資購入選定委員会を毎月（8月を除く）開催し、安全で良質な食材を選定し購入した。
 購入食材12検体を毎月（8月を除く）検査機関に提出し、安全確保に努めた。
 専門検査機関による放射能高感度検査を食材、完成食合わせて、118回実施し安全を確認した。
 地産地消を推進するため、可児市産を含む県内産農産物の使用に努めた。（県内産に対する可児市産の使用割合22.8%、総使用量に対する県内産の使用割合12.7%）

学校における食育の推進（ - 6 - (3) ）
 食について正しい知識を身につけ、望ましい食習慣を養うため、学校訪問指導を積極的に進めた。（指導クラス数延べ281）
 『学校給食お便り』を作成し、今日の献立内容や使用食材に係る健康や食文化について給食時間に毎日放送した。
 献立表へ使用食材を記載するとともに、食物アレルギーがある子を持つ保護者の希望者に栄養成分配合表を送付するなどの情報提供を行い、食物アレルギーへの対応を進めた。
 給食残渣の一部を堆肥化し、市内小中学校等へ配布して活用を図った。（配布実績716kg）

家庭における食育の推進（ - 6 - (4) ）
 試食会などを通じ、保護者に対し、正しい食習慣を身につけることや朝食の大切さ、家族と一緒に楽しく食べることの大切さについて啓発を行った。（14回、参加人数542人）
 毎月、給食だよりや献立表を配布して、食に関する情報を提供した。

担当課	学校給食センター
-----	----------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>安全でおいしい学校給食を提供していくために、衛生管理を徹底していく必要がある。</p> <p>学校給食を活用した食に関する指導を進めていく必要がある。</p> <p>学校と連携し、学校給食費の適正な徴収を進める。</p>				
今後の方針	<p>衛生管理の徹底を図るため、職員研修を実施し、衛生管理マニュアルを見直して精度を高めていくとともに、安全でおいしい給食を提供していく。</p> <p>安全で安心して食べられる良質な食材を確保していくとともに、県内産を含む地元農産物をできる限り多く使用していく。</p> <p>学校訪問指導を進めるとともに、試食会などを通じて、家庭での食育を推進する。また、堆肥化した給食残渣の活用を進める。</p> <p>給食費の適正な徴収を進め、収納率の向上をめざす。</p>				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 15%;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>衛生管理を徹底し、安全で栄養バランスがとれたおいしい給食を提供できた。</p> <p>安全で良質な食材の購入と地元農産物の選定に心がけると共に、放射能検査を実施し、検査した全てについて安全を確認した。</p> <p>新たに、給食費長期滞納者対応として、弁護士と回収業務委託を締結し、回収率の向上を行った。</p> </td> </tr> </table>	A	施策の総括		<p>衛生管理を徹底し、安全で栄養バランスがとれたおいしい給食を提供できた。</p> <p>安全で良質な食材の購入と地元農産物の選定に心がけると共に、放射能検査を実施し、検査した全てについて安全を確認した。</p> <p>新たに、給食費長期滞納者対応として、弁護士と回収業務委託を締結し、回収率の向上を行った。</p>
A	施策の総括				
	<p>衛生管理を徹底し、安全で栄養バランスがとれたおいしい給食を提供できた。</p> <p>安全で良質な食材の購入と地元農産物の選定に心がけると共に、放射能検査を実施し、検査した全てについて安全を確認した。</p> <p>新たに、給食費長期滞納者対応として、弁護士と回収業務委託を締結し、回収率の向上を行った。</p>				

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
給食残食率	調査日における全体の残菜量(人分) / 出席者の数(人分)(%)	3.0	3.0
給食費収納率	納入総額 / 年間の給食費総額(%)	99.2	99.3
食に関する指導の実施率	小中学校での食に関する指導の実施クラス数 / 全クラス数(%)	84.2	100

		担当課	教育総務課
平成24年度の重点			
基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育		
施策名	7 安心して学べる学校施設環境の整備・充実		
主な取組の内容	<p>学校施設の整備（ -7-(1)）</p> <p>桜ヶ丘小学校屋内運動場及び兼山小学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。 広見小学校屋内運動場の大規模改造事業の実施設計を行う。 兼山小学校及び東可児中学校のプールろ過機の改修工事を実施する。 桜ヶ丘小学校プール槽の塗装改修工事を実施する。 小学校5校及び中学校3校の防火シャッターの危害防止機能取付工事を実施する。 ばら教室K A N Iの建替え工事を実施する。 瀬田教職員住宅の廃止に伴う取り壊し工事を実施する。 学校施設の状況を的確に把握し、緊急度優先度を見極め適切な営繕工事を進める。 小中学校空調設備設置等学校環境改善の検討をする。</p> <p>学校施設の管理（ -7-(2)）</p> <p>管理備品を適正に購入、施設の各種委託等により維持管理を適正に行う。 P F I（ 12）事業による学校給食センターの管理（ -7-(3)） モニタリング（ 13）を通じて学校給食センター施設の適正な維持管理を行う。 学校規模適正化の検討（ -7-(4)） 学校規模適正化検討委員会（ 14）の提言を受け、教育委員会で検討のうえ通学区区域審議会へ諮問する。</p>		
主な予算事業名	小学校管理一般経費 小学校施設改修経費 小学校校舎大規模改造事業 中学校管理一般経費 中学校施設改修経費 学校給食センター建設事業 教職員住宅管理経費		
施策の実施状況、成果			
<p>学校施設の整備（ -7-(1)）</p> <p>桜ヶ丘小学校屋内運動場及び兼山小学校屋内運動場の耐震補強工事については学校行事や学校開放利用と調整しながらそれぞれ9月と1月に完了した。市内小中学校施設の耐震化率は100%となった。</p> <p>広見小学校屋内運動場大規模改造事業の実施設計は3月に完了した。 兼山小学校及び東可児中学校のプールろ過機の改修工事はプール使用開始までに完了した。 桜ヶ丘小学校プール水槽塗装改修工事はプール使用開始までに完了した。 小学校5校及び中学校3校の防火シャッターの危害防止機能取付工事は夏休みや休日を中心に実施し9月に完了した。 ばら教室K A N Iの建替え工事は3月に完了した。 瀬田教職員住宅の廃止に伴う取り壊し工事は、3月に完了した。 各学校からの要望を基に現場を踏査することで、施設の状況を的確に把握し、緊急度優先度を見極め適切な営繕工事を実施した。 小中学校空調設備設置等学校環境改善の検討を進め「夏季における教室内の環境調査報告書」をまとめた。</p> <p>学校施設の管理（ -7-(2)）</p> <p>管理備品を各学校からの要望を基にヒアリング及び現場を踏査し、老朽度緊急度を判断しながら購入した。 水道設備、電気設備、昇降機の点検、夜間警備などを委託し、適正な施設管理を実施した。 P F I事業による学校給食センターの管理（ -7-(3)） 学校給食センターP F I参画事業者との定例会を開催し、事業の円滑化を図り、さらに維持管理のモニタリングを委託し、事業の適正化を図った。 学校規模適正化の検討（ -7-(4)） 学校規模適正化検討委員会の提言を受け、教育委員会で「学校規模適正化に関する基本方針」をとりまとめた。</p>			

担当課	教育総務課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>学校施設の建物構造体の耐震補強工事は、平成24年度の事業完了により100%完了したが、今後は天井材や外装材等の非構造部材の耐震化や防災機能の強化を進めていく必要がある。</p> <p>築造・改修後20年以上経過した建物が全体の60.3%以上を占め老朽化が進んでおり、なかでも30年以上経過した建物が18.5%を占めるため、大規模改修事業を計画的に進める必要がある。</p> <p>P F I 事業は、平成31年度までの事業期間中、着実な事業実施が必要である。</p> <p>学校規模適正化に関する基本方針に対する意見を収集するとともに児童生徒数の最新データから各校の動向により見直しをする必要がある。</p>
------------	---

今後の方針	<p>市の施設全体の中での調整を図りつつ、大規模改修事業を計画的に進めるとともに施設の状況を的確に把握し施設保全の優先度や修繕範囲を見極め効率的な修繕工事を実施し、施設の長寿命化・財政負担の軽減と平準化を図る。</p> <p>天井材や外装材等の非構造部材の耐震化や防災機能の強化を進めていく。また、大規模改修事業とは別に各学校トイレについて洋式化や快適空間とする改修を順次進めていく。</p> <p>学校給食センター P F I 事業における維持管理業務の適正化をモニタリングを通じて図っていく。</p> <p>学校規模適正化に関する基本方針について各層の意見を収集するとともに、最新データによる児童生徒の動向を常に注視していく。</p>
--------------	---

評 価	A	施策の総括	
		<p>桜ヶ丘小学校屋内運動場及び兼山小学校屋内運動場の耐震補強工事及びばら教室 K A N I の建替え工事は計画どおり完了した。また営繕工事についても緊急度優先度を見極め適正に実施した。</p> <p>学校規模適正化の検討については、教育委員会として「学校規模適正化に関する基本方針」をまとめた。現段階ではすべての小中学校とも現状維持とし、今後動向を注意深く見守ることとした。</p>	

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標

指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
市立幼稚園の耐震化率(15)	耐震化されている建物棟数 / 市立幼稚園建物棟数 (%)	33.3	100
市立小学校の耐震化率	耐震化されている建物棟数 / 市立小学校建物棟数 (%)	94.3	100
市立中学校の耐震化率	耐震化されている建物棟数 / 市立中学校建物棟数 (%)	96.3	100

担当課	教育文化財課
-----	--------

平成24年度の重点

基本目標名	あたたかさとしんせきを持つ家庭づくり・地域づくり
施策名	1 家庭教育の啓発・支援
主な取組の内容	<p>家庭教育学級の充実（ - 1 - (1) ） 義務教育までの子どもを持つ親を対象に、幼稚園、保育園、小中学校、公民館で自主的な運営による乳幼児学級、家庭教育学級を開設し、家庭教育の学習の機会を提供すると共に地域における家庭教育のリーダーを育成する。</p> <p>家庭教育に関する啓発（ - 1 - (2) ） 家庭教育学級に参加できない保護者に対して、家庭教育講演会の開催など学習機会を提供し、参加を呼び掛ける。</p> <p>P T Aとの連携（ - 1 - (3) ） 市P T A連合会と連携し、あいさつ運動などを通じて子どもの社会性や倫理観を育む。</p>
主な予算事業名	家庭教育推進事業

施策の実施状況、成果

家庭教育学級の充実（ - 1 - (1) ）
 市内の公民館、幼稚園、保育園、公立小・中学校において開催し、おおむね月1回の学習会を各学級で開催した。学級会の企画運営は、各学級の中から選ばれた役員を中心に行った。学級開設数45学級、学級生数2,050人で昨年度より減少し、参加率は16.8%であった。民間保育園1園で学級が設置できなかったことが一つの要因である。

家庭教育に関する啓発（ - 1 - (2) ）
 「元気父ちゃん、元気母ちゃんが子どもの未来を築く！」の演題で、家庭教育講演会を開催した。各小中学校などの保護者へのチラシを配布や市広報掲載により、452人の参加があった。

P T Aとの連携（ - 1 - (3) ）
 市P T A連合会と共催し、家庭教育講演会を開催した。



家庭教育学級の様子



家庭教育講演会の様子

担当課	教育文化財課
-----	--------

施 策 の 課 題 及 び 今 後 の 方 針

課 題	学級生の微減傾向は、少子化だけでなく、就労状況、子育てニーズの多様化、団体活動を避ける傾向が影響していると思われる。家庭教育学級の趣旨の周知と呼びかけを工夫する必要がある。				
今後の方針	家庭教育学級の自主運営を継続し、家庭教育のリーダーを育成する。 家庭教育学級への参加率を向上させるため、リーダー会や担当者会を通じて情報の収集、提供をしていく。 学校や保健センターと連携し、PRを継続していく。 私立学校での開設を働きかける。				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td>家庭教育学級への参加者は微減状況にあるものの、各学級の自主的な運営や学習内容は、子育てやリーダー育成、仲間づくりに貢献するものであった。</td> </tr> </table>	A	施策の総括		家庭教育学級への参加者は微減状況にあるものの、各学級の自主的な運営や学習内容は、子育てやリーダー育成、仲間づくりに貢献するものであった。
A	施策の総括				
	家庭教育学級への参加者は微減状況にあるものの、各学級の自主的な運営や学習内容は、子育てやリーダー育成、仲間づくりに貢献するものであった。				

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
家庭教育学級への参加率	家庭教育学級への参加人数 / 保護者数 (%)	16.9	16.8

担当課	教育文化財課
-----	--------

平成24年度の重点

基本目標名	あたたかさとしんせきを持つ家庭づくり・地域づくり
施策名	2 地域の教育力の向上
主な取組の内容	託児ボランティアの養成（ - 2 - (3) ） 子育てサポーター養成講座を通じて託児ボランティアを養成し、ボランティアの組織化を進める。
主な予算事業名	家庭教育推進事業

施策の実施状況、成果

託児ボランティアの養成（ - 2 - (3) ）
子どもが好きで、子育て支援活動に興味のある市民を対象に、大学教授等専門機関の講師による6回連続講座「子育てサポーター養成講座」を実施した。42人の受講があり、そのうち5回以上受講した27人に修了証を交付した。受講生から子育てサポーターへの登録者が6人あり、子育てサポーターの登録者数は147人（昨年同期3人増）となった。当講座は、子育てサポーターの既登録者が改めて勉強する機会としても活用している。



子育てサポーター養成講座の様子

担当課	教育文化財課
-----	--------

施 策 の 課 題 及 び 今 後 の 方 針

課 題	<p>増えつつある家庭教育学級での要請に十分に答えられるよう、ボランティアの人数を維持・確保しておく必要がある。 託児ボランティアの派遣については、効率的な運営が必要である。</p>	
今後の方針	<p>今後とも、家庭教育学級やキッズクラブ（16）等に関わるボランティアを養成していく。</p>	
評 価	A	<p align="center">施策の総括</p> <p>新規登録は少数にとどまったが、既登録者のリピート学習の機会ともなり、資質の向上に役立った。</p>

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成
 B おおむね順調に達成
 C 一部未達成
 D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
子育てサポーター養成講座受講者数	受講者数(人)	43	42

担当課	人づくり課
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	あたたかさとしんせきを持つ家庭づくり・地域づくり
施策名	2 地域の教育力の向上
主な取組の内容	地域と学校の連携（ - 2 - (1) ） 公民館まつり等の地域の催しに子どもが参加できる場を増やすなど、子どもと地域のつながりを強める。
主な予算事業名	青少年育成事業

施策の実施状況、成果

地域と学校の連携（ - 2 - (1) ）
 各地区において、公民館まつりや運動会などの地域行事に中学生がボランティアで参加したり、青少年育成推進員による親子木工教室など体験事業が行われ子どもの活動の場が提供された。
 各地区において、青少年育成推進員がPTAと連携して、小中学校の校門前などであいさつ運動が実施された。
 E d u c e 9 庁内推進委員会を開催し、庁内関係課との情報共有やE d u c e 9 の推進方法について協議した。



親子木工教室の様子

担当課	人づくり課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	地域で青少年を見守り、育てる運動を継続する必要がある。			
今後の方針	各地区において各種団体が連携し、心の通うあいさつ運動を行う。 地域行事への子どもの参画を通して、地域ぐるみで子どもを育てる運動を継続して行う。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>市内各地区において、地域行事への参画など子どもの活躍の場を設けて、子どもと地域のつながりを強める事業が行われた。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	市内各地区において、地域行事への参画など子どもの活躍の場を設けて、子どもと地域のつながりを強める事業が行われた。
A	施策の総括			
	市内各地区において、地域行事への参画など子どもの活躍の場を設けて、子どもと地域のつながりを強める事業が行われた。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

		担当課	生涯学習文化室
平成24年度の重点			
基本目標名	あたたかさと厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり		
施策名	3 休日・放課後の子どもの居場所づくり		
主な取組の内容	休日の子どもの居場所づくり（ - 3 - (1) ） 地域での子どもの活動の場として関係課と連携をとり公民館子ども対象事業の内容の充実を図る。		
主な予算事業名	公民館活動経費		
施策の実施状況、成果			
休日の子どもの居場所づくり（ - 3 - (1) ） 今渡・下恵土・川合・土田・春里の5公民館において、地域子ども教室を開催し、地域の特色や人材を生かした、その地域ならではの学びや楽しみの場として、276教室延べ3,806人の参加を得た。 ○5公民館以外の公民館においても子ども対象の文化活動を平成26年度から順次実施できるよう各公民館と協議を行った。			
			
地域子ども教室の様子			

施策の課題及び今後の方針

課 題	公民館主催の事業とUNIC（17）事業における類似の事業の調整と整理が必要である。	
今後の方針	UNICとの調整連携を図り、子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくりを地域一体となって確保する。	
評 価	A	<p style="text-align: center;">施策の総括</p> 休日の子どもの居場所づくりとして、5公民館において様々な教室を開設した。 ○子どもたちの安全安心な居場所として、また、地域と子どもの交流の場となるよう地域の方々を講師として実施した。 ○公民館における子ども対象事業の拡充について、UNIC担当課と協議を重ねた。

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
地域子ども教室参加者数	地域子ども教室 延参加者数(人)	3,855	3,806

担当課	こども課
-----	------

平成24年度の重点

基本目標名	あたたかさとしんせきを持つ家庭づくり・地域づくり
施策名	3 休日・放課後の子どもの居場所づくり
主な取組の内容	<p>児童クラブの効果的な運営と整備（ - 3 - (2) ） 児童クラブの円滑な運営を推進するとともに制度の見直しを行う。 保育環境の充実を図るため、土田小学校児童クラブの施設整備を行う。 地域との交流の推進（ - 3 - (3) ） 長期休暇期間中に、地域ボランティアが運営主体となる「地域子ども見守りモデル事業」（ 18 ）を継続実施するとともに、平成25年度以降の事業の展開方針を決定する。</p>
主な予算事業名	地域子ども見守りモデル事業 児童クラブ運営事業 児童クラブ整備事業

施策の実施状況、成果

児童クラブの効果的な運営と整備（ - 3 - (2) ）
 条例を改正し、平成25年度から、児童クラブの名称をキッズクラブに変更するとともに、対象学年を6年生までに拡大することや通年入室コースとは別に長期休暇入室コースを新設するなど制度の拡充の準備を完了した。
 指導員体制を見直し、各児童クラブにリーダー指導員を、こども課に統括指導員を配置することを決定し準備を整えた。
 土田小学校児童クラブの新築工事を完了した。

地域との交流の推進（ - 3 - (3) ）
 地域ボランティアが運営する「地域子ども見守りモデル事業」について、平成23年度からの帷子地区、今渡南小校区に加え、平成24年度は桜ヶ丘小校区を含めた3ヶ所で実施した。また、平成25年度から全クラブにおいてボランティアを受け入れる体制を整えることとした。



地域子ども見守りモデル事業

担当課	こども課
-----	------

施策の課題及び今後の方針

課 題	ボランティアの参加人数を拡大していく必要がある。 安全で適切な保育を継続的に実施するため、指導員の資質の向上を図る必要がある。
------------	--

今後の方針	長期休暇期間におけるボランティアへの参加を積極的に呼びかける。またボランティアが参加しやすい体制を整え、地域との交流を推進する。 指導員が研修に参加する機会を増やすとともに、安全管理等に関する情報の共有や現状の問題点等を協議するリーダー会を効果的に運用する。
--------------	--

評 価	A	施策の総括	これまで保護者からの要望が高かった対象学年の拡大や長期休暇のみの預かりなどの課題の解決をするよう制度改正を行った。 平成23～24年度に実施した「地域子ども見守りモデル事業」の成果を児童クラブの制度の見直しにつなげることができた。 専用教室の施設整備を完了した。
------------	----------	--------------	---

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
児童クラブ待機児童数	定員超過により児童クラブに入室できない児童数(人)	0	0
児童クラブ保育料の収納率	児童クラブ保育料の収納割合(%)	99.4	99.3

		担当課	人づくり課
平成24年度の重点			
基本目標名	あたたかさとしんせきを持つ家庭づくり・地域づくり		
施策名	4 青少年の健全育成		
主な取組の内容	青少年健全育成事業の推進（ - 4 - (1) ） 青少年育成市民会議と少年センターの連携を強化すると共に青少年の健全育成事業を推進する。 少年センター事業の推進（ - 4 - (2) ） 地区市民会議やPTA等関係機関と連携した地域ぐるみの見守り・育成体制の強化と少年相談事業の充実を図る。 成人式の開催（ - 4 - (4) ） 新成人が企画運営に主体的に関わり、多くの新成人が参加する成人式を実施する。		
主な予算事業名	青少年育成事業 成人式開催経費		
施策の実施状況、成果			
青少年健全育成事業の推進（ - 4 - (1) ） 青少年育成推進員と少年センター補導員が連携して合同研修会を開催し、各地区での活動内容を情報交換することにより相互理解を図った。 青少年育成市民会議主催により少年の主張大会を開催し、中学生代表13人が発表した。参加者は前年より76人多い638人であった。この大会では、中学生ボランティアの協力があった。 青少年育成市民会議主催により青少年育成シンポジウムを開催した。参加者は、前年より114人多い623人であった。 少年センター事業の推進（ - 4 - (2) ） 青少年育成推進員による街頭啓発活動を、7月に市内大型店舗において、11月には大型店舗及び地区公民館まつりにおいて行い、青少年の健全育成・支援を呼びかけた。 少年センターでは、補導員105人による巡回補導活動を年間で108回実施し、不審者情報の発信を40件行った。 青少年育成推進員とPTA補導部員が合同で補導を行い、連携を図った。 成人式の開催（ - 4 - (4) ） 新成人9人と次年度新成人6人が企画運営委員会を組織し、記念冊子のデザイン編集、式典で上映する映像製作、当日の司会進行を担うほか、記念イベントとして長期間にわたり練習を積んだ和太鼓の演奏を披露した。参加者から、和太鼓の演奏や恩師登場の企画への評価が高かった。			

担当課	人づくり課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>青少年育成市民会議を通して、地域ぐるみで青少年の健全育成に関わる運動を推進する必要がある。 青少年を取り巻く問題がめまぐるしく変化している中で、携帯電話やインターネット利用の危険性を市民に啓発する必要がある。 新成人に対して、郷土を大切にしたい心や地域の一員として自覚を高めるとともに、より多くの新成人が参加する式典を実施する必要がある。</p>				
今後の方針	<p>青少年育成市民会議の活動を通して、各地区の青少年育成関係団体が連携して青少年の健全育成に関わり、非行やいじめを防止する体制づくりを継続する。 携帯電話やインターネットに関する危険性や利用上のモラルを学ぶ機会を設けて、青少年育成推進員や青少年育成関係者に情報提供する。 新たに成人を迎える若者が、郷土の良さを理解し、新成人としての自覚をもって地域のリーダーとなる人材を養成するとともに、成人式への参加率の向上を目指す。</p>				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 15%;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>青少年育成推進委員会と、少年センター補導員、PTAとの連携により、青少年健全育成事業や合同補導を行った。 新成人代表と、次年度新成人となる若者の企画運営による成人式を開催した。</p> </td> </tr> </table>	A	施策の総括		<p>青少年育成推進委員会と、少年センター補導員、PTAとの連携により、青少年健全育成事業や合同補導を行った。 新成人代表と、次年度新成人となる若者の企画運営による成人式を開催した。</p>
A	施策の総括				
	<p>青少年育成推進委員会と、少年センター補導員、PTAとの連携により、青少年健全育成事業や合同補導を行った。 新成人代表と、次年度新成人となる若者の企画運営による成人式を開催した。</p>				

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成
 B おおむね順調に達成
 C 一部未達成
 D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
青少年育成シンポジウム参加者数	参加者数(人)	439	623
少年の主張大会参加者数	参加者数(人)	471	638
成人式参加率	成人式参加者数 / 新成人数(%)	76.1	73.9

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

平成24年度の重点

基本目標名	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習
施策名	1 多様な生涯学習機会の提供
主な取組の内容	公民館の運営（ - 1 - (1) ） 地域及び市民の学習ニーズに応じた公民館講座を開催すると共に公民館間で講座情報を共有し共同講座を企画するなど連携体制を強化する。 高齢者大学（ 19 ）事業の推進（ - 1 - (2) ） 高齢者大学運営委員会と連絡調整を十分に図り高齢者ニーズに応じた高齢者大学事業を開催する。 花のまち可児・手づくり絵本事業の推進（ - 1 - (3) ） 市民実行委員会と協働し、手づくり絵本大賞事業最終年度としての実施を円滑に進める。
主な予算事業名	公民館活動費 高齢者大学講座経費 花のまち可児・手づくり絵本大賞事業

施策の実施状況、成果

公民館の運営（ - 1 - (1) ）
 14公民館に公民館事務員24人を配置し、地域の人材を生かした講座、地域の課題、特色を取入れた講座を昨年以上の回数実施した。

高齢者大学事業の推進（ - 1 - (2) ）
 高齢者大学に881人、高齢者大学大学院（ 20 ）に59人が受講し、学習テーマに基づいて大学講座及び大学院講座をそれぞれ9回開催した。

花のまち可児・手づくり絵本事業の推進（ - 1 - (3) ）
 実行委員会と連携協働して、次の事業を実施した。
 大人のための製本講座（5月14日 参加者11人）
 夏休み小学生手づくり絵本講座開催（7月23日・24日 参加者105人）
 絵本大賞受賞作品を、小・中学校16校と図書館に巡回展示した。
 絵本大賞応募作品展及び授賞式開催（作品展11月3日～11月11日 授賞式11月11日）



高齢者大学講座



手づくり絵本大賞事業

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

施策の課題及び今後の方針

課 題	地域の団体や学校と連携協働し、地域の課題や社会の課題を解決するための学習講座の提供に努める。 手づくり絵本を通じた豊かな心や、ものづくり、本へ親しむ心などを育む講座を継続する。				
今後の方針	市民及び地域のニーズに応じ、関係団体や地域の人材を活用し、多様な公民館講座・教室を開催する。 各公民館で講座情報の共有化を図るとともに、市民への講座情報の提供に努める。 高齢者の安気づくりのために、継続して高齢者大学・大学院において、高齢者のニーズに合った学習の場を提供する。 子どもたちの豊かな心を育てるため、小学生を対象とした絵本講座を開催する。				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>個人の趣味が多様化するなかで、14公民館を拠点として、地域の課題、特色や人材を生かした講座・教室を開催し、多様な生涯学習の機会を提供した。</p> <p>高齢者大学や大学院を開設し、高齢者にふさわしい教養と社会能力を高める場を提供することで、高齢者の生きがいを支援した。</p> <p>全体的に事業規模を縮小したなかで、実行委員や学校、ボランティアの協力で、最終となる手づくり絵本事業を実施した。</p> </td> </tr> </table>	A	施策の総括		<p>個人の趣味が多様化するなかで、14公民館を拠点として、地域の課題、特色や人材を生かした講座・教室を開催し、多様な生涯学習の機会を提供した。</p> <p>高齢者大学や大学院を開設し、高齢者にふさわしい教養と社会能力を高める場を提供することで、高齢者の生きがいを支援した。</p> <p>全体的に事業規模を縮小したなかで、実行委員や学校、ボランティアの協力で、最終となる手づくり絵本事業を実施した。</p>
A	施策の総括				
	<p>個人の趣味が多様化するなかで、14公民館を拠点として、地域の課題、特色や人材を生かした講座・教室を開催し、多様な生涯学習の機会を提供した。</p> <p>高齢者大学や大学院を開設し、高齢者にふさわしい教養と社会能力を高める場を提供することで、高齢者の生きがいを支援した。</p> <p>全体的に事業規模を縮小したなかで、実行委員や学校、ボランティアの協力で、最終となる手づくり絵本事業を実施した。</p>				

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
公民館講座への参加者数	参加者数(人)	114,301	107,992
高齢者大学事業受講者数	受講者数(人)	852	881
花のまち可児・手づくり絵本大賞応募数	応募数(件)	487	316

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

平成24年度の重点

基本目標名	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習
施策名	2 市民の主体的な生涯学習活動の支援
主な取組の内容	生涯学習ボランティアの養成（ - 2 - (1) ） ○市民が持つ知識や経験を地域に還元できるよう社会参加のきっかけづくりを進める。 各種団体の活動の支援（ - 2 - (2) ） 生涯学習団体と連携して市民主導の生涯学習事業を実施する。
主な予算事業名	生涯学習推進事業

施策の実施状況、成果

生涯学習ボランティアの養成（ - 2 - (1) ）
職員の出前講座の市民版として、市民講師による講座を開催した。
市民講師が自ら企画し生涯学習団体が支援する生涯学習市民講師企画講座を開催し、市民主導で行う生涯学習を推進した。また、広報かのに「うるおいライフ」に講座情報を掲載し、市民の主体的な生涯学習を支援した。

各種団体の活動の支援（ - 2 - (2) ）
年10回連続講座の「生き生き創年ゼミ」、視聴覚機器取扱い講習会、子どもを中心とした良質な映画の上映会、趣味やサークルの活動の成果を発表する作品展などを共催や委託事業として実施した。



担当課	生涯学習文化室
-----	---------

施策の課題及び今後の方針				
課題	生涯学習事業の担い手となる人材の養成や生涯学習団体を支援育成していく必要がある。			
今後の方針	生涯学習団体と連携し、市民主導の生涯学習を実施する。 市民が継続可能な生涯学習に取り組めるよう支援する。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>市民講師による企画講座を実施し、「経験や特技を生かして教えたいたい人」や「文化・伝統を伝えたい人」と「それらを学びたい人」を繋ぐ、市民主体の生涯学習を展開した。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	市民講師による企画講座を実施し、「経験や特技を生かして教えたいたい人」や「文化・伝統を伝えたい人」と「それらを学びたい人」を繋ぐ、市民主体の生涯学習を展開した。
A	施策の総括			
	市民講師による企画講座を実施し、「経験や特技を生かして教えたいたい人」や「文化・伝統を伝えたい人」と「それらを学びたい人」を繋ぐ、市民主体の生涯学習を展開した。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
市民講座の開催数	市民が自ら企画し、また講師を務めるといった市民主導の講座の数 (件)	-	29

		担当課	図書館
平成24年度の重点			
基本目標名	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習		
施策名	3 図書館の機能充実と読書活動の推進		
主な取組の内容	<p>読書活動の推進（ -3-(1) ） 家庭・地域・学校・ボランティアと連携し、うちどく(家読)10(21)運動を継続する。 学校や地域、公民館と連携し、移動図書館の運行、パック詰めサービス、団体貸出を実施する。 学校と連携し、読み聞かせやブックトーク(22)等の出前授業を実施する。</p> <p>図書館サービスの提供（ -3-(2) ） 資料の適切な購入と除籍により、蔵書の充実、また書架の有効利用を図る。 郷土資料及び行政資料の収集を行い蔵書の充実を図る。 資料の検索や予約等のインターネットサービスの普及を図る。</p> <p>図書館ボランティアの活用・養成（ -3-(3) ） ボランティア講座を実施し、図書館ボランティアの資質向上と新規ボランティアの養成を図る。 読み聞かせやブックトーク、図書の配架、イベント等の諸事業をボランティアと協働する。</p>		
主な予算事業名	図書館管理運営一般経費 図書館蔵書整備事業 図書システム管理経費 読書推進事業		
施策の実施状況、成果			
<p>読書活動の推進（ -3-(1) ） 4ヶ月健診時に保健センターで行った「赤ちゃんと絵本事業」（月2回）では、新規登録280名。 本・分館の「かにつき子タイム」（週1回）と「ちびっこかにつき子タイム」（月2回）の参加者は、2,814名。 うちどく（家読）10推進講演会をはじめ、各種講座や読書会（延べ13回）の参加者は、189名。 桜ヶ丘公民館との共催「育メン講座（5回）」、わくわく体験館との共催「ガラス講座（2回）」など、他機関と連携した講座を初めて開催した。 幼稚園（8回）、高校（1回）へ司書を派遣し、読み聞かせ等の授業を行った。 学校を対象とした団体貸出によるパック詰めサービスは、18件634冊であった。 「うちどく（家読）10リーフレット」中学生・高校生向けを作成し、市内及び近隣の中学校・高校に配布した。</p> <p>図書館サービスの提供（ -3-(2) ） 「かにつき子だより」及び「図書館だより」を毎月発行し、新刊図書等の紹介をした。 本館、分館ともに、館内の展示を毎月企画して衣替えした。 ウェブサイトから、蔵書検索と予約の受付、利用状況確認、新着本・人気本・新聞・雑誌一覧、DVD一覧等の情報提供を継続した。ウェブサイトのトップページ閲覧数は195,508件であった。平成22年度からウェブ予約を開始した結果、ウェブ予約件数が22,051件(21年度2,151件)と全予約件数38,126件の半数以上を占めるようになった。 開架・閉架書庫すべての資料を確認する全館の蔵書点検を5日間かけて行い、信頼できる蔵書目録を作成した。 職員向けの庁内レファレンスサービスを行い、5件の申込みに対応した。 返却の延滞者には、1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年を締めとして督促状を送付し、電話や訪問も併用した。 新刊本の購入を進め、郷土資料282冊、多文化サービス用外国語図書20冊を収集した。 職場体験学習として、中学校3校8名、高校1校3名(各3日程度)受け入れた。 学校の社会見学として、小学校4校176名、特別支援学校1校52名受け入れた。</p> <p>図書館ボランティアの活用・養成（ -3-(3) ） 絵本の読書会を2回開催し、読み聞かせ等のボランティアの育成を行った。 「赤ちゃん和絵本事業」や「かにつき子タイム」、「ちびっこかにつき子タイム」では、ブックサポーターやボランティアの全面協力をいただいた。また、うちどく（家読）10推進講演会では、ブックサポーターの協力により、初めて託児受付を行った。 日々の図書排架やりユース事業、蔵書点検等についても、連携をとり協力を得て実施できた。</p>			

担当課	図書館
-----	-----

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>うちどく（家読）10運動等の図書館活動を、ボランティアと連携をとりながら継続するためには、ボランティアの支援と新規養成、児童の読書に対する知識・技術面での向上を図る必要がある。</p> <p>来館者数と貸出冊数は、平成21年度をピークに過去約10年間微増減を繰り返しているが、今後は来館者数や貸出冊数の増加を目指したサービスアップを図る必要がある。</p>
------------	---

今後の方針	<p>ボランティアを対象にした研修や講座を開催し、ボランティアの資質向上を図る。また、ボランティア会議の機会を設け、協働のための話し合いをしていく。利用者が一度に借りることのできる冊数を5冊から10冊に増やすなど、来館者数と貸出冊数の増加を目指す。</p>
--------------	--

評 価	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティアや教育関係機関との連携等により、各事業展開は、計画どおり実施できた。</td> </tr> </table>	A	施策の総括		ボランティアや教育関係機関との連携等により、各事業展開は、計画どおり実施できた。
A	施策の総括				
	ボランティアや教育関係機関との連携等により、各事業展開は、計画どおり実施できた。				

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成
 B おおむね順調に達成
 C 一部未達成
 D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
図書館来館者数	市立図書館の来館者数（人）	297,901 (過去最高値)	277,192
図書館貸出冊数	市立図書館・分館における貸出冊数（冊）	530,193 (過去最高値)	499,980
図書館図書予約件数	市立図書館における予約・リクエスト件数（件）	32,455	38,126 (過去最高値)

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

平成24年度の重点

基本目標名	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習
施策名	4 だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実
主な取組の内容	生涯学習施設の管理（ - 4 - (2) ） 施設や機械設備の老朽化が進む中、限られた予算を効果的に活用し緊急優先度を配慮しながら営繕工事をすすめる。
主な予算事業名	公民館管理経費 公民館整備事業

施策の実施状況、成果

生涯学習施設の管理（ - 4 - (2) ） 公民館の改修工事や補修工事を実施し、施設の安全性と利便性の確保に努めた。 施設の適正管理を図るため、各種保守点検業務や管理業務を委託し、施設の適正管理に努めた。

平牧公民館

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

施策の課題及び今後の方針

課 題	14公民館のうち、築20年以上経過する公民館が12館ある。施設の老朽化が進むなか、限られた予算内で計画的な改修を実施する必要がある。
------------	--

今後の方針	施設を安全・安心に利用できるよう、計画的に改修工事を実施する。 施設の安全性を最優先し、施設の破損等による危険箇所は、優先的に改修工事を実施する。
--------------	--

評 価	A	施策の総括
	公民館改修工事、屋根改修工事、外壁補修工事などが必要となっている施設について計画的な改修工事を実施した。	

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

		担当課	図書館
平成24年度の重点			
基本目標名	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習		
施策名	4 だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実		
主な取組の内容	生涯学習施設の整備（ -3-(1)）、生涯学習施設の管理（ -4-(2)） 施設や機械設備の老朽化が進む中、限られた予算を有効的に活用し緊急優先度に配慮しながら維持管理を行う。 新図書館の整備に向けた検討（ -4-(3)） 新図書館のあり方について調査・研究し、職員懇談会で検討するとともに、報告書をまとめる。		
主な予算事業名	図書館施設管理経費		
施策の実施状況、成果			
生涯学習施設の整備（ -3-(1)）、生涯学習施設の管理（ -4-(2)） 本館並びに分館の日常的な維持管理や環境整備を行った。 地震時の安全を確保するため、本館及び分館の書架の転倒防止対策を行った。 来館者の利便性を向上するため駐車場用地(本館)を新たに借り受け利用を開始した。 本館の多目的トイレ及び女子用トイレ1基を洋式に改修した。 書架スペースの有効利用を図るため、資料的価値や、利用の少なくなった図書を2,999冊除籍し、市民対象にリユースを10月27日・28日の2日間実施した。（延べ435人の市民が来館） 新図書館の整備に向けた検討（ -4-(3)） 近年新設された図書館の実情や構想を調査するため、小布施町の図書館の視察を行った。 新図書館を語る職員懇談会において、新図書館に関する報告書を作成した。			

担当課	図書館
-----	-----

施策の課題及び今後の方針

課 題	本館は、築28年が経過し老朽化が目立ち、施設設備、駐車場、蔵書・閲覧スペース等、改修の必要箇所が絶えない。		
今後の方針	○改修箇所について優先順位を定め、計画的に改修を行い、良好な維持管理に努め、利用者の安全確保と図書館の環境整備と充実を目指す。		
評 価	A	施策の総括	書架の転倒防止や駐車場の拡充、トイレの改修など、計画どおりに維持管理が実施できた。 ○非公式ながら、新図書館に関する職員懇談会からの報告書が完成した。

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

		担当課	スポーツ振興課
平成24年度の重点			
基本目標名	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動		
施策名	1 スポーツに親しみ、楽しむ機会の提供		
主な取組の内容	スポーツ行事・教室の開催（ - 1 - (1) ） スポーツ推進委員などと連携し、スポーツ行事を開催することにより「一市民一スポーツ」の定着を図る。 総合型地域スポーツ・文化クラブ（UNIC）の充実（ - 1 - (2) ） UNICの活動の見直し及び自主運営に向けた取り組みを支援していく。 B & G財団関連事業の充実（ - 1 - (4) ） B & G財団が推進する“水の事故0運動”を引き続き展開し、「水の安全教室」、「チャレンジ・レスキュー」を実施していく。		
主な予算事業名	スポーツ推進委員活動経費 生涯スポーツ推進事業 総合型地域スポーツ・文化クラブ推進事業		
施策の実施状況、成果			
<p>スポーツ行事・教室の開催（ - 1 - (1) ）</p> <p>スポーツ推進委員等を中心に、気軽に参加できる軽スポーツ大会や行事を次のとおり開催した。</p> <p>5月20日、27日かに6市民大会（ソフトバレー） 参加者45チーム・353人</p> <p>7月16日子ども会育成協議会にラジオ体操指導 参加者約300人</p> <p>10月21日ウォーキング大会（健康フェア協賛） 参加者221人</p> <p>10月28日ミニテニス交流会 参加者61人</p> <p>1月1日元旦登山 参加者1,230人</p> <p>3月17日生涯スポーツ交流会（ソフトバレー） 参加者43チーム・338人</p> <p>各地区の健友会と連携し、体力測定を7回行い、高齢者の健康意識の高揚を図った。</p> <p>生涯学習出前講座として、軽スポーツ講習を7回（191人参加）行った。</p> <p>障がい児水泳教室を4回開催（延べ149人）した。</p> <p>可児シティマラソン開催の支援をした（参加者数2,607人）。</p> <p>毎月開催するスポーツ推進委員会定例会終了後、生涯スポーツとして普及に取り組んでいるミニテニス競技の運営方法を習得するため、推進委員で審判講習会を行った。</p> <p>総合型地域スポーツ・文化クラブ（UNIC）の充実（ - 1 - (2) ）</p> <p>各クラブの代表者等で組織するUNIC協議会を6回開催し、今後のUNICについて協議した。</p> <p>B & G財団関連事業の充実（ - 1 - (4) ）</p> <p>各小学校に「水の安全教室」参加募集を行い、土田小学校、今渡北小学校、広見小学校、帷子小学校、東明小学校において合計7時間、502人の児童に対して、着衣泳や水の事故に対する心構え等の指導を行った。また、B & Gプールにおいて「親子による水の安全教室」（17組・34人）や「チャレンジレスキュー」（16人）を開催し、水の安全について指導を行った。</p> <p>Eポート体験教室（2回・33人）、カヌー・マリンスポーツ体験教室（1回・21人）で、紙芝居等を用いて、水の事故0運動啓発活動を行った。</p> <p>B & G施設の利用者数において、体育館が全国6位（310ヶ所中）、プールが28位（289ヶ所中）であった。</p>			

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

施策の課題及び今後の方針				
課題	生涯スポーツ推進のため、スポーツ行事の運営方法、ニーズ等を調査し、多くの市民に参加していただけるよう検討する必要がある。 UNICが自主的運営が行っていきけるよう、支援を続けていく必要がある。			
今後の方針	「一市民スポーツ」を振興していく。 UNICが継続的な組織として自主運営できるよう、統合、事務所の一本化等が図れるよう支援する。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>UNIC協議会を開催し、クラブの自主運営に向けての協議を行い、一定の方向性を出すことができた。 年間を通じて予定していたスポーツ行事を、計画的に行うことができた。「水の安全教室」については昨年より多くの方に参加していただき、水と安全にふれあうことについて指導できた。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	UNIC協議会を開催し、クラブの自主運営に向けての協議を行い、一定の方向性を出すことができた。 年間を通じて予定していたスポーツ行事を、計画的に行うことができた。「水の安全教室」については昨年より多くの方に参加していただき、水と安全にふれあうことについて指導できた。
A	施策の総括			
	UNIC協議会を開催し、クラブの自主運営に向けての協議を行い、一定の方向性を出すことができた。 年間を通じて予定していたスポーツ行事を、計画的に行うことができた。「水の安全教室」については昨年より多くの方に参加していただき、水と安全にふれあうことについて指導できた。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
シティマラソン参加者数	参加者数(人)	1,978	2,607
UNIC登録者数	各UNIC及び蘭丸の里スポーツクラブの登録者数(人)	2,578	2,546
市民運動場(5ヶ所)利用者数	延べ利用人数(人)	104,572	101,757

		担当課	スポーツ振興課
平成24年度の重点			
基本目標名	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動		
施策名	2 スポーツに取り組む人材の育成と技術の向上		
主な取組の内容	体育連盟と加盟協会の組織の強化（ - 2 - (1) ） 財団法人可児市体育連盟の公益財団化について、支援を行なっていく。 指導者及び選手の育成（ - 2 - (3) ） 坂戸市民テニス場の整備にともない、テニス競技の振興を図っていく。		
主な予算事業名	体育連盟経費 体育大会等経費		
施策の実施状況、成果			
<p>体育連盟と加盟協会の組織の強化（ - 2 - (1) ） 市総合体育大会を19種目（競技）開催し、スポーツ人口の拡大と選手の発掘を図った。 可児市からは、国際大会へ3名、全国大会へは212名が出場した。うち、ぎふ清流国体へ30人の市民が出場した。また、体育連盟加盟団体からは4競技、7名を派遣した。 平成24年度は国体開催年であるため、県民スポーツ大会は中止された。</p> <p>指導者及び選手の育成（ - 2 - (3) ） 各種競技団体の大会や教室運営等を支援し、競技人口の増加と競技力の向上を図った。 激励金の支給基準の見直しを行い、世界大会出場者に対する激励金の明確化や、大会規模による支給額の区別を行った。</p>			

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

施策の課題及び今後の方針

課 題	他市における人材育成策や競技力向上策を調査し、本市における導入の可能性を検討する。 競技力向上のための市、体育連盟の役割を明確化し、事業展開を図っていく。
------------	--

今後の方針	(公財)可児市体育連盟の支援を行なう。 全国大会等出場者への支援を行なう。 他市における人材育成策等を調査する。
--------------	--

評 価	A	施策の総括	可児市から全国大会へ出場する選手等を情報発信することができた。 大会規模による、激励金支給額の基準見直しを図り、より明確に細分化した。
------------	---	--------------	--

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
体育連盟加盟人数	加盟人数(人)	3,053	2,988
全国大会出場件数	出場件数(件)	148	162
スポーツ少年団登録者数	登録人数(人)	1,162	1,137
スポーツ少年団指導者数	指導者登録人数(人)	307	296

担当課	国体推進室
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動
施策名	2 スポーツに取り組む人材の育成と技術の向上
主な取組の内容	<p>ぎふ清流国体の開催（ -2-(4) ）</p> <p>愛岐カントリークラブと連携して、仮設物をリースするなどして競技会場を整備する。</p> <p>○県ゴルフ連盟と協議して、競技役員を適切に配置する。さらに、市職員・ボランティアにより大会運営全体を円滑に実施する。</p> <p>○中央競技団体と連絡を密にし、選手受付・組み合わせ抽選など、不備の無いように努める。</p> <p>○県・市グラウンド・ゴルフ協会及び3 B体操協会など主催団体や協力団体と連携して、デモスポ（ 23 ）行事の円滑な運営を図る。会場レイアウトに基づき必要設備を調達し、周辺の花飾りも実施する。</p> <p>○可児ローズソサイエティと連携して、バラ（かに乙女）の育成に努める。</p> <p>○学校と連携して、花飾りや歓迎登り旗の設置などにより、選手や関係者を歓迎する。</p> <p>○炬火リレーの実施やミナモダンス・ミナモ体操を市民に広めることにより、国体開催機運を盛り上げる。</p> <p>○関連種目の教室を実施するなど、国体開催後にも実を結ぶ事業の展開を図る。</p>
主な予算事業名	ぎふ清流国体競技開催事業

施策の実施状況、成果

ぎふ清流国体の開催（ -2-(4) ）

会場の愛岐カントリークラブと連携を図り、良好な競技会場として選手を迎え入れることが出来た。

競技種目の運営を、県ゴルフ連盟役員・市職員・ボランティアらで分業し、トータルの采配を事務局として適正に執行した。

東京での打ち合わせを複数回実施し、抽選会・選手受付などを特にトラブルもなく実施した。

学校、ローズソサイエティなどに協力をいただき、会場の花飾りを計画的に設置し、全国からのお客様を花の装飾でもてなした。

デモスポ行事の運営を関連団体と協力して円滑に実施した。

8月1日に炬火式典・炬火リレーを実施し、市内の国体に対する機運を盛り上げることが出来た。

ジュニアゴルフ教室、一般向けグラウンドゴルフ教室、幼稚園での3 B体操教室などを実施し、広く開催種目の啓発と競技者の裾野を広げる援助を行った。



担当課	国体推進室
-----	-------

施 策 の 課 題 及 び 今 後 の 方 針

課 題	平成24年度をもって当該事業は終了したが、国体を契機とし、さらなるスポーツ活動への市民参加を促進する必要がある。				
今後の方針	各種団体との協力関係を生かして、ゴルフ競技・グラウンドゴルフ競技の種目人口の拡大とジュニア競技者の育成を図る。 参加された市民ボランティアが、今後もスポーツ行事（シティマラソン、駅伝等）に継続的に活動してもらえるように、市民参加の機運を高めていく。				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td>可児市正式種目であるゴルフ競技(女子)においては、日本ゴルフ連盟役員より、国体競技としてはこれまでになく、大変スムーズな運営であったとの評価を得た。事業全体としても、各種関係団体とも良好な協調関係を維持し、成功裏に成果を上げることが出来た。</td> </tr> </table>	A	施策の総括		可児市正式種目であるゴルフ競技(女子)においては、日本ゴルフ連盟役員より、国体競技としてはこれまでになく、大変スムーズな運営であったとの評価を得た。事業全体としても、各種関係団体とも良好な協調関係を維持し、成功裏に成果を上げることが出来た。
A	施策の総括				
	可児市正式種目であるゴルフ競技(女子)においては、日本ゴルフ連盟役員より、国体競技としてはこれまでになく、大変スムーズな運営であったとの評価を得た。事業全体としても、各種関係団体とも良好な協調関係を維持し、成功裏に成果を上げることが出来た。				

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

		担当課	スポーツ振興課
平成24年度の重点			
基本目標名	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動		
施策名	3 気軽に利用できるスポーツ施設環境の整備・充実		
主な取組の内容	<p>スポーツ施設の整備（ - 3 - (1) ） 平成25年度末の野球場整備に向けて、施設仕様や運営方法の検討を行う。</p> <p>スポーツ施設の管理（ - 3 - (2) ） 坂戸市民テニスコートの整備に伴い、テニスコートの使用料及び貸出時間の見直し、オープニングイベントの開催を行う。</p> <p>将来的な体育施設の管理・運営方法について、指定管理者制度の導入などについて検討する。 市民が安心・安全に体育施設を管理していただけるように管理備品の整備・点検を計画的に行う。</p>		
主な予算事業名	夜間照明施設開放事業 学校開放事業 体育施設管理経費 体育施設整備事業		
施策の実施状況、成果			
<p>スポーツ施設の整備（ - 3 - (1) ） 坊主山グラウンドトイレの改修工事を行い、簡易水洗化した。 第一弓道場矢道の改修工事を行った。</p> <p>スポーツ施設の管理（ - 3 - (2) ） 年間を通じて施設使用者が使いやすいよう、体育施設の維持管理を行なった。 体育施設の予約システムの管理、使用料徴収を行い、施設の貸し出しを行った。 （新）坂戸市民テニスコートを10月から開場し、10月13日には関係者を招いてオープニングイベントを開催した。 総合運動場の夜間照明使用時間を、使用者の要望により対応できるよう改善を図った。</p>			

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

施策の課題及び今後の方針

課 題	平成26年度から運営を開始する野球場について、運営方法を決定し、オープンに向けた準備を行う必要がある。 体育施設を運営・管理していくにあたり、直接職員が運営する方法、業務の一部を委託する方法、指定管理者制度を導入する方法等、管理方法について検討を行う必要がある。
------------	--

今後の方針	野球場の円滑な運営が図れるよう条例や規則等の整備、市民への周知などを行い、平成26年度の開場に向けて準備する。 体育施設の運営・管理を行うにあたり、様々な運営・管理方法のメリットやデメリットを検討し、本市にあった運営方法の研究を進める。
--------------	---

評 価	A	施策の総括	今まで施設の貸出を行なっていなかった薄暮の時間帯についても、一部の施設であるが使用者のニーズにより使用ができるようにした。 施設修繕や老朽施設の改修工事を行い、施設の利便性を高めた。 坂戸市民テニス場をリニューアルし、10月から運用を開始した。
------------	----------	--------------	--

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

担当課	郷土歴史館
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
施策名	1 文化・芸術に親しむ機会の提供
主な取組の内容	郷土歴史館などの運営（V-1-(3)） 郷土の歴史に興味を持ってもらえるような企画展・特別展を実施する。 陶芸苑での陶芸教室活動の推進（V-1-(4)） 学校との連携による出前講座等の充実を行う。 歴史講座や陶芸教室を開催する。
主な予算事業名	郷土館管理運営経費 陶芸苑一般経費 兼山歴史民俗資料館管理経費

施策の実施状況、成果

郷土歴史館などの運営（V-1-(3)）
 特別展「弥七田織部展」（2月5日～3月20日）特別展関連事業「陶芸家による展示説明会、作陶実演」（展示説明会4回、手回しロクロ実演、型起こし実演）を開催した。
 企画展「探して見よう身近な植物展」（4月10日～6月17日）、「懐かしの学校と子どもたち展 / 古墳博士になろう」（7月24日～9月2日）、「可児の地歌舞伎」（9月6日～11月11日）、「絵はがきを楽しむ」（11月13日～12月24日）を開催した。展示会は、入館者増に大きく貢献した。
 「紙芝居&読み聞かせ」（紙芝居7月28・29日、読み聞かせ8月4・5日）を開催した。また、「私たちの美濃焼」（11月18日）、「旅の楽しみ～明治期の古瀬村道中日記～」（12月2日）、「千村家の代替わり参府と預所巡見」（12月16日）の講座も開催した。
 学校との連携として、郷土歴史館に5校・川合考古資料館に10校 計15校の小中学校が見学に来館し説明を行った。また、出前講座（小学校8校）も実施した。
 兼山歴史民俗資料館の展示説明や周辺の文化財案内を行った。

陶芸苑での陶芸教室活動の推進（V-1-(4)）
 陶芸苑事業では、陶芸サークルをはじめ公民館講座等の作陶を指導した。
 陶芸教室では「手づくり美濃焼講座」（3期8コース 参加者計128名）、「陶かぶとづくり」（2コース 参加者計13名）を開催した。
 夏休み親子陶芸教室（4コース）を開催し29組の親子が参加した。



弥七田織部展

担当課	郷土歴史館
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>最小限の費用で、身近な歴史を再発見できるような展示、講座などの企画が必要である。 財団法人豊蔵資料館（24）から寄贈を受けた「豊蔵資料館」について、今後の運営や再オープンに向けた準備が必要である。</p>				
今後の方針	<p>郷土歴史館、兼山資料館、川合資料館の入館者の増加を図る。 今後とも小中学校と密に連携を図り、事業展開していく。 郷土歴史館と荒川豊蔵資料館が一体となって、可児の陶芸文化を発信するような展示会を企画していく。 陶芸苑の活動を通じて、市民へ陶芸文化の理解と普及を図る。</p>				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 15%;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>特別展や関連事業を通して、可児の陶芸文化を広く紹介できた。 郷土歴史館や川合資料館へ多くの小中学校が訪れ、出前講座としても活用してもらえるなど連携が図れた。</p> </td> </tr> </table>	A	施策の総括		<p>特別展や関連事業を通して、可児の陶芸文化を広く紹介できた。 郷土歴史館や川合資料館へ多くの小中学校が訪れ、出前講座としても活用してもらえるなど連携が図れた。</p>
A	施策の総括				
	<p>特別展や関連事業を通して、可児の陶芸文化を広く紹介できた。 郷土歴史館や川合資料館へ多くの小中学校が訪れ、出前講座としても活用してもらえるなど連携が図れた。</p>				

- | |
|--|
| <p>A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない</p> |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
可児郷土歴史館	入館者数(人)	2,471	3,453
兼山歴史民俗資料館	入館者数(人)	1,563	1,555
川合考古資料館	入館者数(人)	2,099	1,951

		担当課	生涯学習文化室
平成24年度の重点			
基本目標名	V 文化・芸術の創造と歴史の継承		
施策名	1 文化・芸術に親しむ機会の提供		
主な取組の内容	文化創造センターにおける鑑賞事業の充実（V-1-(1)） 文化創造センターの指定管理者である(公財)可児市文化芸術振興財団に施設の管理運営を委託し、各種文化芸術鑑賞事業を促進する。		
主な予算事業名	文化芸術振興事業		
施策の実施状況、成果			
<p>文化創造センターにおける鑑賞事業の充実（V-1-(1)）</p> <p>市民が良質の文化芸術を体験できるよう、音楽では世界最高のウイenna・ワルツ、ポルカを演奏するウイーン・フォルクスオーパー交響楽団の演奏、伝統芸能では人間国宝の常磐津一巴太夫さんの素浄瑠璃演劇など多分野にわたり開催し、地域文化の創造と可児市民としての帰属意識を醸成した。特に、平成24年度は市制施行30周年及びアーラ開館10周年記念事業として「市民ミュージカル“君といた夏”」を再演し、可児交響楽団と市民合唱団による「市民第九演奏会」などを上演した。</p> <p>地域拠点契約をしている文学座と新日本フィルハーモニー交響楽団の協力により、アーラでの公演だけにとどまらず、市内の公民館、学校、福祉施設等に出向き、アーラに来られない市民にも芸術を体験する機会を提供した。</p>			
			
新日本フィルハーモニー アウトリーチ		文学座 「花咲くチェリー」	

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

施策の課題及び今後の方針

課 題	指定管理者の下、市民に質の高い文化・芸術に触れていただく機会の提供はもとより、運営・経営面においても市民の満足度を一層高める。				
今後の方針	優れた文化・芸術を提供するとともに、市民参画を得て文化創造センターの利用促進を図る。 事業内容や実施方法を逐次点検し、より多くの市民が幅広い分野の文化・芸術に親しむことができるように施設運営を監理していく。				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc; width: 20%; text-align: center;">A</td> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td>質の高いものから市民参加型のものまで幅広く市民が芸術文化に親しむ機会を提供した。 施設の利用者数や稼働率も過去最高の数値となっており、地域に根付いた施設となっている。</td> </tr> </table>	A	施策の総括		質の高いものから市民参加型のものまで幅広く市民が芸術文化に親しむ機会を提供した。 施設の利用者数や稼働率も過去最高の数値となっており、地域に根付いた施設となっている。
A	施策の総括				
	質の高いものから市民参加型のものまで幅広く市民が芸術文化に親しむ機会を提供した。 施設の利用者数や稼働率も過去最高の数値となっており、地域に根付いた施設となっている。				

- | |
|--|
| A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
文化創造センターの利用者数	利用者数(人)	273,331	343,362
文化創造センター劇場の稼働率	文化創造センターの主劇場及び小劇場の稼働率(%)	67.8	73.2

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

平成24年度の重点

基本目標名	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
施策名	2 市民の主体的な文化・芸術活動の支援
主な取組の内容	文化創造センターにおける市民参加事業の促進（V-2-(1)） 公益財団への委託により、文化創造センターにおいて多くの市民参加を得た舞台作品の制作を行う。 美術展・文芸祭・音楽祭を実施する。 文化・芸術団体活動の支援（V-2-(2)） 可児市文化協会などの文化芸術団体の活動を支援する。
主な予算事業名	文化振興一般経費 文化芸術振興事業

施策の実施状況、成果

文化創造センターにおける市民参加事業の促進（V-2-(1)）
 (財)自治総合センターの「地域の芸術環境づくり助成事業」として、コンテンポラリーダンス作品であるオーケストラで踊ろう！「新世界」を制作・上演した。市民ダンサーやスタッフ、演奏の可児交響楽団など公演に関わった市民は延べ650人を超える。
 財団制作の演劇「アラコレクションシリーズ」Vol .5「高き彼物」を、市民サポーターの支援を受け、アーラで8公演、各地で18公演行った。
 音楽祭 7月8日（日）開催 出演団体10団体、来場者約850人
 美術展 11月7日（水）～11日（日）（最終日表彰式）出品点数5部門306点 来場者約1,600人
 文芸祭 11月28日（水）～12月2日（日）（最終日表彰式）出品点数（一般）8部門1,445点（小中）3部門2,182点 来場者約150人
 文化・芸術団体活動の支援（V-2-(2)）
 市文化協会としてあるいは各部門ごとに行う各種文化芸術事業を支援し、活動の啓発・伝統芸術の継承、新しい文化の創造を図った。市少年少女合唱団の活動を支援し、合唱活動を通じた地域とのつながりやクラシック音楽への関心を深めた。

大型市民参加事業
オーケストラで踊ろう！「新世界」



担当課	生涯学習文化室
-----	---------

施策の課題及び今後の方針

課 題	市民の文化・芸術活動のさらなる活発化を目指すため、市民参加の事業を推進することが必要である。
------------	--

今後の方針	文化創造センターを拠点として文化芸術の振興を図り、また市民の主体的な文化芸術活動を支援する。
--------------	--

評 価	A	施策の総括
	<p>(公財)文化芸術振興財団制作の公演などに毎年多くの市民が参加し、自ら芸術文化に触れるという意識の醸成を図った。また、市文化協会など地域の文化・芸術団体に対して財政支援や活動の補助を行うことで地域文化への理解を深めること及び文化の振興を図った。</p>	

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成
 B おおむね順調に達成
 C 一部未達成
 D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

		担当課	教育文化財課
平成24年度の重点			
基本目標名	V 文化・芸術の創造と歴史の継承		
施策名	3 文化財の保護と歴史の継承		
主な取組の内容	指定文化財の保存管理（V-3-(1)） 地元諸団体と連携し、文化財の保護、環境整備を図る。 サクライソウ、ミカワバイケイソウなどの自生地の生育調査を実施する。 指定文化財の整備活用（V-3-(2)） 金山城跡調査成果をまとめ国指定史跡申請を行う。また、その内容や価値について市民への周知を図る。 市民が文化財をより身近に感じるよう、内容紹介やPRを進める。 埋蔵文化財の発掘調査及び保存（V-3-(3)） 開発に伴う緊急の試掘・発掘調査に対応し、記録保存を実施する。 窯跡の発掘調査に関する事前調査を行う。 伝統文化の保存と伝承（V-3-(4)） 宮太鼓など伝統文化の活動を支援し、その継承とPRを図る。 「飛騨・美濃歌舞伎大会かに2012」の実行委員会事務局として県等と連携し、開催する。		
主な予算事業名	文化財保護一般経費 緊急発掘調査事業 指定文化財整備事業 金山城跡調査事業		
施策の実施状況、成果			
指定文化財の保存管理（V-3-(1)） 維持管理が必要な指定文化財21ヶ所について、地元自治会等に除草等管理を委託し、環境整備に努めた。 文化財建造物等の警備（7ヶ所）、史跡・名勝の除草剪定業務（5ヶ所）を業者に委託した。 サクライソウ、シデコブシ、ミカワバイケイソウの生育状況の調査を実施するとともに、専門家と連携しその保護活動を行った。 指定文化財の整備活用（V-3-(2)） 県史跡金山城跡について、石垣の図化、史跡範囲の境界確定、地籍図面のデジタル化を行った。これらを含め平成18年からの試掘調査の成果に基づいて、『金山城跡発掘調査報告書』を作成（300部）し、事前協議を終えて国指定史跡への申請を行った。 金山城跡をPRするため、講演会や現地説明会を開催した。 老朽化した指定文化財解説板を立て替えた。（久々利八幡神社大祭、木造地藏菩薩半跏像、大森皿屋敷横穴墓群） 埋蔵文化財の発掘調査及び保存（V-3-(3)） 開発に伴う立会いや緊急発掘調査、関連整理作業を実施した。 川合地内と兼山地内において試掘調査を行った。 大萱古窯跡群（牟田洞古窯跡）の事前調査を実施した。 次年度以降の調査に向け、地形測量と磁気探査を実施した。 「国宝卯花塙ふるさと調査事業」のパンフレットを作成（1,000部）した。 伝統文化の保存と伝承（V-3-(4)） 「第20回飛騨・美濃歌舞伎大会かに2012」において、県内で活動する地歌舞伎保存会による公演を行い、伝統芸能である地歌舞伎の活性化や魅力の発信を行った。また、市民に紹介すべく可児郷土歴史館で企画展「可児の地歌舞伎」を開催し、『可児市の地芝居資料集』を発刊した。			

担当課	教育文化財課
-----	--------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>市民が、文化財をより身近に感じるよう、引き続き愛護意識の高揚を図る必要がある。</p> <p>「国宝卯花塙ふるさと調査事業」の一環として、牟田洞古窯跡の試掘調査が必要である。</p> <p>美濃金山城跡について、地域住民をはじめとする市民へ史跡の内容や価値について周知を図っていく必要がある。</p>
------------	---

今後の方針	<p>文化財の保護・伝承と活用を図るため、保存管理や環境整備、調査を行う。</p> <p>国指定史跡となる美濃金山城跡の市民周知と保存管理計画策定のための準備を行う。</p> <p>将来の保存整備を念頭に、美濃桃山陶器の重要な窯場であった牟田洞古窯跡の試掘調査を行う。</p>
--------------	--

評 価	A	施策の総括	<p>指定文化財の保存管理と環境整備を行うとともに、講座や見学会の実施及び書籍の刊行などにより、文化財愛護意識の高揚を図った。</p> <p>美濃金山城跡については、事前協議をクリアし国指定史跡への申請を行った。</p>
------------	---	--------------	--

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度
指定文化財の件数	国・県・市指定の文化財件数(件)	132	132

担当課	郷土歴史館
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
施策名	3 文化財の保護と歴史の継承
主な取組の内容	文化・歴史の調査、研究とその実施体制の整備（V-3-(5)） 伝統文化や歴史についての調査・研究を実施し、調査報告書を発行する。 所蔵資料の保存と活用（V-3-(6)） 所蔵資料の保存と活用のため、資料整理と目録作成を行い、歴史講座などに活用する。
主な予算事業名	資料調査保存事業

施策の実施状況、成果

文化・歴史の調査、研究とその実施体制の整備（V-3-(5)）
 特別展「弥七田織部展」に係る展示図録を500部発行した。
 所蔵資料の保存と活用（V-3-(6)）
 特別展や企画展を通じた資料調査と、展示や講座などへの所蔵資料の活用を行った。
 民俗資料や古文書資料、兼山行政文書資料の整理、目録作成作業を行った。



紙芝居 & 読み聞かせ



可児の地歌舞伎展

担当課	郷土歴史館
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>家の建替え等で散逸の恐れのある歴史史料を調査・収集する必要がある。文書資料、発掘調査資料及び多治見工業高校（寄託）及び（財）豊蔵資料館（寄贈）からの陶片等により収蔵施設が不足しており、収蔵施設の充実を図っていく必要がある。</p> <p>多治見工業高校（寄託）や（財）豊蔵資料館（寄贈）からの、膨大な陶器資料の調査・整理を進めていく必要がある。</p>
------------	---

今後の方針	<p>古文書や陶片等の資料の調査整理を、中・長期的に実施する。また、調査資料や収蔵資料を活用した歴史講座などを開催していく。</p>
--------------	--

評 価	A	施策の総括
	<p>特別展「弥七田織部展」に関する図録の発行により陶芸文化の発信ができた。</p> <p>所蔵資料に関係する陶芸文化、歴史を題材とした講座を3回開催した。</p> <p>収蔵資料の整理と目録作成を順調に進めた。</p>	

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

担当課	郷土歴史館
-----	-------

平成24年度の重点

基本目標名	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
施策名	4 文化・歴史に親しめる施設環境の整備・充実
主な取組の内容	文化・歴史施設の整備（V-4-(1)）、文化・歴史施設の管理（V-4-(2)） ○郷土歴史館、兼山歴史民俗資料館、川合考古資料館及び陶芸苑の、適正な管理・運営を行う。
主な予算事業名	郷土館管理運営経費 陶芸苑一般経費 兼山歴史民俗資料館管理経費

施策の実施状況、成果

文化・歴史施設の整備（V-4-(1)）
郷土歴史館の雨漏り防水工事と古民家の照明器具の増設を実施した。
文化・歴史施設の管理（V-4-(2)）
資料収蔵庫の整理を行い、収蔵資料の燻蒸処理を実施した。



可児郷土歴史館
分館 民俗資料



陶芸苑

担当課	郷土歴史館
-----	-------

施策の課題及び今後の方針			
課題	郷土歴史館（昭和48年開館）は経年劣化が目立つ。また、分館の民俗資料館は、地震対策とともに茅葺き屋根等の傷みが激しい状態にある。 兼山資料館は、歴史的な価値を損なわない方法で、地震等安全対策を講じる必要がある。		
今後の方針	郷土歴史館については、展示施設や収蔵庫不足の解消に向けて検討していく。分館の民俗資料館や兼山資料館については、市全体のファシリティマネジメントの中で検討していく。 寄贈いただいた「豊蔵資料館」の改修は取り急ぎ進め、周辺整備については、市全体のランドデザインの中で位置づけていく。		
評価	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50px; height: 100px;">A</td> <td style="text-align: center; width: 100px;">施策の総括</td> </tr> </table> <p>限られた予算の中で、雨漏り防水工事等を行った。 入館者に気持ち良く見学できるように、日常的な保守管理を実施した。</p>	A	施策の総括
A	施策の総括		

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

平成24年度の重点

基本目標名	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
施策名	4 文化・歴史に親しめる施設環境の整備・充実
主な取組の内容	文化・歴史施設の整備（V-4-(1)） 使用頻度の高い文化創造センターの劇場設備について、改修や交換を実施する。 文化・歴史施設の管理（V-4-(2)） 公益財団のモニタリングを随時実施し、文化創造センターの管理を実施する。
主な予算事業名	文化創造センター維持経費

施策の実施状況、成果

文化・歴史施設の整備（V-4-(1)）
 年度計画や予算を考え、以下の改修や修繕等を順次行った。
 舞台機構用機器取替工事
 歩道タイル設置工事
 駐車帯舗装工事
 直流電源装置修繕工事
 小劇場空調機インバータ取替工事

文化・歴史施設の管理（V-4-(2)）
 財団との基本協定に基づき随時モニタリングを実施し、事業の進捗状況や財務状況を把握した。また、同じく基本協定に基づく定期報告書や事業計画書の提出を受け、適正な業務遂行を指示している。



可児市文化創造センター（ala）外観

担当課	生涯学習文化室
-----	---------

施策の課題及び今後の方針			
課題	文化創造センターは開館から10年が経過し、経年による施設の老朽化が進行している。計画的に改修や交換を進めているが、予期しない緊急の修繕や機器の故障への対応が必要な場合が生じることがある。		
今後の方針	改修が必要な箇所について優先順位をつけ、文化創造センターの運営に支障のないよう計画的に修繕や機器の交換を進める。		
評価	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50px; height: 100px;">A</td> <td style="text-align: center; width: 100px;">施策の総括</td> </tr> </table> <p>経年による施設の改修箇所が増え、徐々に修繕や備品の経費が増大しているなか、市の財政事情を考慮し、耐用年数や優先度をもとに営繕工事を進めた。</p>	A	施策の総括
A	施策の総括		

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

		担当課	教育総務課
平成24年度の重点			
基本目標名	全体の推進体制		
施策名	1 教育委員会の活性化		
主な取組の内容	教育委員会会議・教育政策会議の開催（全体-1-(1)） 定例及び臨時教育委員会会議を開催し、教育委員会の方針や規則の制定改廃などを上程し決定する。 教育政策会議（25）を随時開催し、中長期課題などの協議や報告を行う。 教育委員研修の充実（全体-1-(3)） 県教育委員会連合会主催など教育委員の各種研修に参加する。また、教育課題に対応した教育委員による先進地視察を行う。		
主な予算事業名	教育委員会一般経費		
施策の実施状況、成果			
教育委員会会議・教育政策会議の開催（全体-1-(1)） 定例会を毎月1回の計12回、臨時会を5月・10月・2月・3月の4回開催し、適宜議案を上程した。 7月に事務の点検・評価、8月から1月の間に学校規模適正化について協議検討するため教育政策会議を7回開催した。 関係機関との連携・協力（全体-1-(2)） 市長・副市長との懇談会を5回行った。また、議会教育福祉委員会との懇談会を1月に行った。 教育委員の知見を生かして各種委員会の委員、団体の理事として関係機関、団体に参画した。 教育委員研修の充実（全体-1-(3)） 11月28日に美濃加茂市で開催された可茂地区教育委員研修会に参加した。 小中入学式・卒業式、小中運動会、小中音楽会、各地区UNIC総会、Educe9公表会、生徒会サミット、青少年シンポジウム、成人式、手づくり絵本大賞表彰式、可児シティマラソンなど各種行事に出席した。また、すべての小中学校の実態把握を目的とした学校訪問を行った。 6月28・29日に「礼の心」の取り組みや小中一貫英語教育の視察を目的とし、福井県永平寺町及び石川県金沢市を視察した。			

担当課	教育総務課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>毎月開催の定例教育委員会会議の円滑な運営に努める。会議時間が長時間化する傾向にあるため、事前の資料提供をより徹底するなど、会議の効率化に努める必要がある。また、活発な議論の機会を確保するため、適宜教育政策会議を開催して懸案事項について協議検討することも必要である。</p> <p>市長・副市長や議会委員会との懇談による意見交換や、情報共有は今後も継続していく必要がある。さらに、教職員、保護者、地域住民などの意向を充分把握して施策展開に生かす必要がある。</p>
------------	--

今後の方針	<p>教育委員会の意思決定がより活発な議論のもとに行われるよう会議運営を円滑かつ効率的に進める。</p> <p>会議での適切な意思決定や施策展開に資するために、市長・副市長や議会との連携強化に努めるとともに、教職員、保護者、地域住民などの意向を把握するよう努める。</p>
--------------	--

評 価	A	施策の総括	<p>教育委員会会議及び教育政策会議を円滑に実施した。また委員の研修及び視察等を計画どおり実施した。</p>
------------	---	--------------	--

- A 順調に達成
 - B おおむね順調に達成
 - C 一部未達成
 - D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

		担当課	教育総務課
平成24年度の重点			
基本目標名	全体の推進体制		
施策名	2 効率的な教育行政運営		
主な取組の内容	<p>情報・課題の共有（全体-2-(1)） 教育委員会事務局の横断的な連携のため、局長課長会議を定期的を開催する。市長部局との関連する施策について、連携して取り組む。</p> <p>施策の分析、評価（全体-2-(2)） 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育委員会事務の点検・評価を実施する。</p> <p>市民に開かれた教育行政の推進（全体-2-(3)） 開かれた教育行政を推進するため、各施策の事業や結果をホームページや成果報告書の作成などにより公表する。</p>		
主な予算事業名	教育総務一般経費		
施策の実施状況、成果			
<p>情報・課題の共有（全体-2-(1)） 毎月1回定例の局長課長会議を開催し、懸案事項の協議、答弁調整など連絡調整や情報共有を行った。</p> <p>市長への権限委譲後の協力体制で事務の点検評価・教育基本計画の進捗管理を進めた。また、E d u c e 9、いじめ防止、キッズクラブ、文化財の有効活用などで市長部局と連携して取り組んできた。</p> <p>施策の分析、評価（全体-2-(2)） 事務の点検・評価は、9月の議会に報告しホームページに公表した。また、報告書の構成を教育基本計画の構成に合わせることで関連性を明確にし、教育基本計画の進捗管理をよりわかりやすくするようにした。</p> <p>市民に開かれた教育行政の推進（全体-2-(3)） 教育委員会会議の会議開催案内と簡易議事録、教育委員会事務の点検・評価、施設整備計画、学校規模適正化検討委員会の提言書と議事録などを公表した。</p>			

担当課	教育総務課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針

課 題	<p>教育委員会関連の中長期課題について、今後もその方向性を研究検討していく必要がある。</p> <p>市民に開かれた教育行政を推進するため、ホームページをより見やすく利用しやすいものにするるとともに内容の充実を図る必要がある。</p>				
今後の方針	<p>市民の期待に応える質の高い教育を実現する教育行政の運営を目指し、教育委員会事務局各課及び市長部局等関係機関と連携・情報交流を密にしながら、各施策実施について全体調整を図っていく。</p> <p>常に効率化を意識しつつ教育委員会事務の点検・評価と教育基本計画の進捗管理を兼ねて実施し、議会に報告するとともに公表する。</p> <p>日本一の義務教育の実現、学校規模適正化や学校施設のあり方等、教育委員会関連の中長期課題について、今後もその方向性を研究検討していく。</p> <p>ホームページを見やすく、利用しやすいように改訂し、広報の充実を進めていく。</p>				
評 価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>局長課長会議など開催により教育委員会事務局各課の連携を図り、また協議会や打ち合わせなど市長部局との連携調整も適正に行った。</p> <p>点検評価など確実に実施し、ホームページで公表した。</p> </td> </tr> </table>	A	施策の総括		<p>局長課長会議など開催により教育委員会事務局各課の連携を図り、また協議会や打ち合わせなど市長部局との連携調整も適正に行った。</p> <p>点検評価など確実に実施し、ホームページで公表した。</p>
A	施策の総括				
	<p>局長課長会議など開催により教育委員会事務局各課の連携を図り、また協議会や打ち合わせなど市長部局との連携調整も適正に行った。</p> <p>点検評価など確実に実施し、ホームページで公表した。</p>				

- | |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成24年度

【用語解説】

1 小1プロブレム

小学校に入学したばかりの小学校1年生が集団行動が取れない、授業中に座ってられない、話を聞かないなどの状態が数ヶ月継続する状態。

2 子ども・子育て関連3法

幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するために制定された「子ども・子育て支援法」、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律」及び「子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の3つの法律のこと。

3 Q - U (Questionnaire—Utilities)

クエッションネア・ユーティリティーズ。教師の日常観察や面接による児童・生徒理解の限界を補い、個々の状態および学級の状態を理解するための、客観的で多面的な資料を提供することを目的としたアンケート調査。(学級アセスメント調査)

4 N R T (Norm Referenced Test)

ノーム・リファレンス・テスト。集団(全国)基準に準拠した評価であり、相対評価(全国的学力水準と比較して相対的に学力を把握する)を行うもの。(全国標準学力検査)

5 A L T (Assistant of Language Teacher)

アシスタント・オブ・ランゲッジ・ティーチャー(外国語指導助手)。学校で外国語授業の補助を行う。

6 E d u c e 9 (エデュース9, エデュースナイン)

平成14年度から推進している、“小中学校9年間を中心に、乳幼児から高校生までを含めて、家庭・地域・学校が協力して、意図的・計画的・継続的にまちぐるみで子どもを育てていこう”という可児市の市民運動。中学校区ごとに推進委員会を設置し、市民主体の活動を展開している。

7 可児市学校教育力向上事業

平成24年度の新規事業であり、児童生徒の「生活」や「学習」の状況をアンケートと学力検査によって把握し、専門家の指導を受け、生活の様子や学び方等に配慮した対応を通して、過ごしやすく学びやすい学校生活作りを目指すもの。

8 いじめ防止専門委員会

小中学校に通う子どもの、いじめ防止を図るための第三者機関。

9 ふれあい教室可児

小・中学校の通常の学級に在籍しているLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥/多動性障害）、高機能自閉症等と考えられる児童生徒が、各教科等の指導は主として通常の学級で受けながら、障がいの状態に応じた特別な指導を受けるための専門の指導の場である。

10 ばら教室KAN I

市立小中学校へ就学する外国人児童生徒を対象として、各学校に籍を置きながら学校教育で必要な生活指導や初期的な日本語指導を集中的に行い、学校の国際教室へ通学するまでの支援を行う通級教室。

11 スマイリングルーム（Smiling Room）

不登校の児童等への教育支援（通級教室、体験学習等）を行う適応指導教室。「スマイリングルーム」は適応指導教室の通称。

12 P F I（Private Finance Initiative）

プライベート・ファイナンス・イニシアティブ。国や自治体が行ってきた社会資本整備などの公共事業を、民間の資金やノウハウを活用して行う手法のこと。民間主導で建設・運営することで、建設費のコストダウンや公共サービスの効率化を図ることができる。

13 モニタリング（Monitoring）

予め設定しておいた計画や目標、指示について、その進捗状況を随時チェックすること。

14 学校規模適正化検討委員会

市立小中学校の規模及び配置について、現状と課題を整理し、望ましい教育環境を整備するための適正規模及び適正配置のあり方について調査・検討するための委員会。

15 耐震化率

可児市立小学校、中学校、幼稚園、それぞれの校舎や体育館などの全棟数のうち、1981年の建築基準法改正以降に新しい耐震基準で建てられた棟と耐震補強済みの棟の割合を示す。文科省は1981年以前の建物の耐震化について、震度6強～7程度の揺れに耐えうる強度にするよう求めている。

16 キッズクラブ

放課後又は休業日において、保護者等がいない家庭の児童の保育を行う児童クラブを、平成25年度から対象学年を小学校1年生から6年生までに拡大し、長期休暇期間のみの入室も可能とした上で、名称をキッズクラブに改めたもの。

- 17 U N I C (ユニック) (Universal Club) (United Club)
可児市の総合型地域スポーツ・文化クラブ。種目、世代や年齢、技術レベルの多様性を持ち、日常的に活動の拠点となる施設を中心に、会員である地域住民のニーズに応じたスポーツや文化活動を優秀な指導者のもとに行えるクラブ。なお、兼山地区においては、平成12年度から総合型地域スポーツクラブとして「蘭丸の里スポーツクラブ」が活動している。
- 18 地域子ども見守りモデル事業
小学校の長期休暇期間中に、学校の余裕教室等を利用し、地域のボランティア団体が運営主体となり留守家庭の児童を見守る取り組み。地域の力を生かした子育て支援のモデル事業として、平成23～24年度の2か年実施した。なお、最初は南帷子小夏休みキッズクラブとしてスタートした。
- 19 高齢者大学
健康で生き甲斐ある豊かな生活を作り出すため、市在住の60歳以上の方を対象に月1回程度の講座の開講やクラブ活動を行うもの。
- 20 高齢者大学大学院
高齢者大学を過去2年以上受講した者を対象に、更に深い知識を学ぶため、2年間のカリキュラムで月1回程度講座を行うもの。
- 21 うちどく10(テン)
「家庭での読書(家読)」を推進する取り組み。読書の目標として、1日10分、1ヶ月で10冊など、家庭で自由に設定してもらえよう数字の「10」をつけている。
- 22 ブックトーク(Book talk)
あるテーマについて、テーマに関する何冊かの本を聞き手に紹介すること。本の内容を教えるのではなく、その本の面白さを伝え、その本を読みたいという気持ちを起こさせることを目的として行う。
- 23 デモスポ(Demonstration Sport)
デモンストレーションとしてのスポーツ行事で、可児市では3B体操とグラウンド・ゴルフが行われる。(3B体操:ボール、ベル、ベルダーの用具を運動の助けとして利用しながら、すべての動きを音楽に合わせ、仲間と楽しく行う健康体操)
- 24 豊蔵資料館
陶芸家故荒川豊蔵の資料館。豊蔵自作の作品(陶磁器・書画など)及び収集品(陶磁器・書画・漆器など)、桃山時代の陶片を収蔵・展示している。

25 教育政策会議

教育委員会会議のほかに、教育委員が資質向上のための研修や、施策について協議を行う会議。